

「現代の国語」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|-------|----|------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 現代の国語 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|-------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|-------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新編現代の国語」(現国 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|-------------------|----------|---|
| 第 1 回 | 単元名 | 自己を見つめる |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | ・生きる原点としての自己への理解を深める。 |
| 第 2 回 | 単元名 | 他者に出会う・言葉と生活 1 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | ・評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。 ・説明をしたり、読み比べたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を養う。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 視野を広げる |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | ・新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げる。 |
| 第 4 回 | 単元名 | 社会と関わる・言葉と生活 2 |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 | ・働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。 ・話し合いをしたり、自分の考えを書いたりすることを通して、表現する力を養う。 |
| 第 5 回 | 単元名 | 世界とつながる |
| 提出期限 11 月 15 日 | 概要 | ・芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。 |
| 第 6 回 | 単元名 | 未来に目を向ける |
| 提出期限 12 月 15 日 | 概要 | ・多様な価値観に目を開き、社会の未来を考える。 |

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】自己を見つめる/他者に出会う

【9月～10月実施】視野を広げる/社会と関わる

【11月実施】言葉と生活

【12月～3月実施】世界とつながる/未来に目を向ける

【オンライン授業実施】『水の東西』から学ぶ二項対立

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

「言語文化」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|----------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新編言語文化」(現文 701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | |
|-------------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第 1 回 | 単元名 随筆・小説 1 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。 |
| 第 2 回 | 単元名 詩歌・小説 2 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。 描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。 |
| 第 3 回 | 単元名 小説 3 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 |
| 第 4 回 | 単元名 古文入門・随筆 |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。 説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。 古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。 作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 |
| 第 5 回 | 単元名 詩歌・物語・紀行 |
| 提出期限 11 月 15 日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えて、内容を解釈する。 特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。 作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。 文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。 |
| 第 6 回 | 単元名 漢文入門・漢詩・論語・史話 |
| 提出期限 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 漢文の特色を知り、きまりを理解する。 格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。 |

| | |
|--------|--|
| 12月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 ・漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。 ・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 ・『論語』の注釈を読んで自分の考えをまとめ、伝え合う。 ・話の展開に即して、内容を理解する力を身につける。 ・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう。 |
|--------|--|

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】生きる喜び/触れ合う心（現代文）</p> <p>【9月～10月実施】命をうたう/葛藤する心（現代文）</p> <p>【11月実施】現実の向こう側（現代文）/古文の世界へ（古文）</p> <p>【12月～3月実施】日々の思いうたの心/古人の生き方（古文）</p> <p>【オンライン授業実施】漢文に親しむ</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|---|

「論理国語」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 論理国語 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|---------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新編論理国語」(論国701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|---------------|----------|---|
| 第1回 | 単元名 | 広がる風景／考える手がかかり |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <p>対話とは何か 細川英雄 ・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返ろう。</p> <p>世界をつくり替えるために 小林康夫 ・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考えよう。</p> <p>少女たちの「ひろしま」 梯久美子 ・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養おう。</p> <p>「ふしぎ」ということ 河合隼雄 ・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めよう。</p> <p>「現在の日本の人口」についてのレポートを書く ・レポートの書き方や資料の集め方など、必要な要素を知り、事実について正確なレポートが書けるようになるろう。</p> |
| 第2回 | 単元名 | 人間と知性 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>学ぶことと人間の知恵 広中平祐 ・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深めよう。</p> <p>ラップトップ抱えた「石器人」 長谷川真理子 ・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考えよう。</p> |
| 第3回 | 単元名 | 現実の中で |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>思考の肺活量 鷺田清一 ・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深めよう。</p> <p>安心について 廣淵升彦 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考えよう。</p> |

| | | |
|----------------|-----|--|
| | | 「日本の年金受給」についてのレポートを書く ・レポートの書き方や資料の集め方など、必要な要素を知り、さらに自分なりの仮説の立て方を身につけ、論証的なレポートが書けるようになる。 |
| 第4回 | 単元名 | ものの見方 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 弱肉強食は自然の摂理か 山田俊弘 ・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉えよう。 複数の「わたし」 松村圭一郎 ・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深めよう。 |
| 第5回 | 単元名 | 働くよるこび |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | はじめに「言葉」がある 堀畑裕之 ・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考えよう。 楽に働くこと、楽しく働くこと 小関智弘 ・楽しく働くこととはどういうことかについての筆者の考えを理解しよう。 |
| 第6回 | 単元名 | 論理の力 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | ・論理とは何かを知り、論理的な文章力や論理的な思考力を身につけるための基礎を学ぼう。 |
| 第7回 | 単元名 | 時代をひらく |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 最初のペンギン 茂木健一郎 ・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考えよう。 豊かさと生物多様性 本川達雄 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深めよう。 |
| 第8回 | 単元名 | 新しい視点から |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 物語の外から 岸政彦 ・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深めよう。 カフェの開店準備 小池昌代 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直そう。 「日本の少子高齢化」についての小論文を書く ・与えられた設問や資料の読み解き方、小論文の基本的な構成や書き方を学ぼう。 |
| 第9回 | 単元名 | 科学と人間 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 鏡としてのアンドロイド 石黒浩 ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉えよう。 ロボットが隣人になるとき 野矢茂樹 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深めよう。 |
| 第10回 | 単元名 | 豊かな認識 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 言葉は「ものの名前」ではない 内田樹 ・言葉と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考えよう。 科学的「発見」とは 小川真里子 ・本文中の二つの課題を迫体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解しよう。 グラフを読み取る ・数値だけではなく、そのグラフがどういった目的で私たちに提示されているのか、グラフの結果は常に正しいといえるのかなど、グラフの背景まで含めて読み取れるようになる。 「日本の公的年金制度」についての小論文を書く ・与えられた設問や資料の読み解き方、小論文の基本的な構成や書き方を学ぼう。 |
| 第11回 | 単元名 | 知のゆくえ |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 知識における作者性と構造的性 吉見俊哉 ・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深めよう。 もう一つの知性 姜尚中 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| | | ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考えよう。 |
| 第12回 | 単元名 | 明日をみつめて |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | ホンモノのおカネの作り方 岩井克人 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深めよう。 未来のありか 若林幹夫 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考えよう。 |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】 広がる風景/考える手がかり/人間と知性（Ⅰ部）</p> <p>【9月～10月実施】 現実の中で/ものの見方/働くよろこび（Ⅰ部）</p> <p>【11月実施】 時代をひらく/新しい視点から（Ⅱ部）</p> <p>【12月～3月実施】 科学と人間/豊かな認識（Ⅱ部）</p> <p>【オンライン授業実施】 知のゆくえ/明日をみつめて（Ⅱ部）</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|--|

「文学国語」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 国語 | 科目 | 文学国語 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|-------------------|
| 教科書 | 東京書籍「文学国語」(文国701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | | |
|---------------|----------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第1回 | 単元名 | 随筆/小説1/評論1 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <p>光の窓 小池昌代 ・著者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。</p> <p>雨月物語 木内昇 ・筆者の考え方の変化球を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。</p> <p>山月記 中島敦 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。</p> <p>窓 いいしんじ ・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。</p> <p>言葉を生きる 若松英輔 ・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。</p> <p>詩と感情生活 鮎川信夫 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。</p> |
| 第2回 | 単元名 | 小説2 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>山椒魚 井伏鱒二 ・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。</p> <p>沖縄の手記から 田宮虎彦 ・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。</p> |
| 第3回 | 単元名 | 詩歌 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>詩や短歌と、短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。</p> <p>モードの変遷 穂村弘</p> |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | ・具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。 |
| 第4回 | 単元名 | 小説3 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | こころ 夏目漱石 ・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 |
| 第5回 | 単元名 | 評論2 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 文学のふるさと 坂口安吾 ・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。 文学の未来 小野正嗣 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。 |
| 第6回 | 単元名 | 小説4/随筆1 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 鞆 安部公房 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 あの朝 角田光代 ・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 国語から旅立って 温又柔 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 書かれた風景の中へ リービ英雄 ・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 |
| 第7回 | 単元名 | 小説1 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 檸檬 梶井基次郎 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。 コンビニの母 森絵都 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。 |
| 第8回 | 単元名 | 詩歌/随筆2 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 詩や俳句と、俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 平気―正岡子規 長谷川權 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。 空っぽの瓶 多和田葉子/松永美穂訳 ・人稱を巡る筆者の体験や考え方を読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。 クレールという女 須賀敦子 ・長い時間をかけて深まっていた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。 |
| 第9回 | 単元名 | 戯曲 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 父と暮らせば 井上ひさし ・対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。 |
| 第10回 | 単元名 | 小説2(1) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 舞姫 森鷗外 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。 |
| 第11回 | 単元名 | 小説2(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 舞姫 森鷗外 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。 |
| 第12回 | 単元名 | 評論/小説3 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 演技する「私」 安藤弘 ・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 |

| | |
|--|---|
| | <p>映画の可能性のために 諏訪敦彦 ・映画と小説を題材にした評論を読み、作品を成立させる視点のありようについて理解を深める。</p> <p>葉桜と魔笛 太宰治 ・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。</p> <p>蠅 横光利一 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。</p> |
|--|---|

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名 【4月～8月実施】 現代文と触れ合う（Ⅰ部） 【9月～10月実施】 多角的に読み深める（Ⅰ部） 【11月実施】 さまざまな見方・考え方から学ぶ（Ⅱ部） 【12月～3月実施】 言葉の感性を養う（Ⅱ部） 【オンライン授業実施】 近現代の名作に触れる（Ⅰ部Ⅱ部） ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |
|--|

「地理総合」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位 | 2 単位 |
|----|------|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--------------------|
| 教科書 | 東京書籍「地理総合」(地総701) |
| 副教材 | 東京書籍「新高等地図」(地図701) |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|----------------|----------|--|
| 第1回 | 単元名 | 地図と現代社会 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが暮らす世界について学ぼう。 ・地図やGISの役割について学ぼう。 ・世界の結び付きについて学ぼう。 |
| 第2回 | 単元名 | 生活文化と地理的環境(1) |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化の地域性と多様性について学ぼう。 ・地形と生活文化の関係について学ぼう。 |
| 第3回 | 単元名 | 生活文化と地理的環境(2) |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・気候と生活文化の関係について学ぼう。 ・産業と生活文化の関係について学ぼう。 |
| 第4回 | 単元名 | 地球的課題と国際協力(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題について学ぼう。 ・資源やエネルギーの問題について学ぼう。 |
| 第5回 | 単元名 | 地球的課題と国際協力(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口や食料の問題について学ぼう。 ・都市や民族の問題について学ぼう。 |
| 第6回 | 単元名 | 持続可能な地域づくりと私たち |

| | | |
|----------------|----|--|
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境の特色について学ぼう。 ・さまざまな自然災害と防災について学ぼう。 ・地域調査の方法について学ぼう。 |
|----------------|----|--|

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】人々の生活文化と多様な地理環境

【9月～10月実施】地図や地理情報システムの役割

【11月実施】様々な地球的課題と国際協力

【12月～3月実施】自然環境と防災

【オンライン授業】資料から読み取る現代世界

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。

地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。

考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などが深まっている。

「歴史総合」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 歴史総合 | 単位 | 2 単位 |
|----|------|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|---------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新選歴史総合」(歴総701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | |
|----------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第1回 | 単元名 歴史の扉 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、歴史と結びついていることを学ぼう。 文書や遺物など、歴史的な営みの記録である資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを学ぼう。 |
| 第2回 | 単元名 近代化と私たち |
| 提出期限 7月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 18世紀のアジア諸国が欧米の経済に与えた影響を学ぼう。 産業革命の影響を学ぼう。 中国の開港と日本の開国の背景、影響を学ぼう。 国民国家が形成された背景や影響を学ぼう。 帝国主義政策の背景とアジア・アフリカに与えた影響を学ぼう。 |
| 第3回 | 単元名 国際秩序の変化や大衆化と私たち(1) |
| 提出期限 8月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 様々な現代的課題の発生と近代化の歴史的関係を学ぼう。 国際秩序の変化と大衆化による、生活や社会の変容を学ぼう。 第一次世界大戦の推移や、大戦後の国際協調体制を学ぼう。 第一次世界大戦前後の社会の変化について学ぼう。 |
| 第4回 | 単元名 国際秩序の変化や大衆化と私たち(2) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化を学ぼう。 世界恐慌への各国の対応と、国際協調体制が動揺した原因を学ぼう。 第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響を学ぼう。 第二次世界大戦後に形成された国際秩序と世界的影響を学ぼう。 第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活を学ぼう。 日本に対する占領政策と戦後国際情勢の関係を学ぼう。 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 第5回 | 単元名 | グローバル化と私たち (1) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治・経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦や地域紛争の中で進んだ第三世界の結集を学ぼう。 ・欧米やソ連の政策転換を学ぼう。 ・地域連携の背景と影響を学ぼう。 ・日本の高度経済成長の背景と影響を学ぼう。 |
| 第6回 | 単元名 | グローバル化と私たち (2) |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の経済発展の背景を学ぼう。 ・経済の自由化や技術革新の影響を学ぼう。 ・資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦の変容と終結の背景を学ぼう。 ・民主化や地域統合の背景と影響を学ぼう。 ・地域紛争が拡散した背景と影響を学ぼう。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】歴史の扉</p> <p>【9月～10月実施】帝国主義と植民地</p> <p>【11月実施】経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【12月～3月実施】冷戦と世界経済</p> <p>【オンライン授業】連合国の占領政策と冷戦</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ、効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 |
|---|

「日本史探究」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|-------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史探究 | 単位 | 3 単位 |
|----|------|----|-------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 3 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--------------------|
| 教科書 | 東京書籍「日本史探究」(日探701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年9回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | |
|---------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第1回 | 単元名 先史・古代の日本と東アジア① |
| 提出期限 6月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・人類の出現と旧石器時代 ・縄文文化の特色 ・弥生文化の特色 |
| 第2回 | 単元名 先史・古代の日本と東アジア② |
| 提出期限 7月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・古墳時代の政治と文化 ・飛鳥時代の政治と文化 ・奈良時代の政治と文化 ・平安時代初期の政治と文化 ・藤原氏の台頭と武士の出現 ・国風文化の特色 |
| 第3回 | 単元名 中世の日本と世界① |
| 提出期限 8月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・院政の開始と展開, 土地支配の変容 ・武士の社会進出と平氏政権の誕生, 平安末期の交易と文化の特色 ・鎌倉幕府の支配のしくみ ・執権政治の特色 ・モンゴルの襲来と鎌倉時代の社会の変化 ・鎌倉時代の仏教と文化 |
| 第4回 | 単元名 中世の日本と世界② |
| 提出期限 8月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての武家と朝廷の動き ・室町時代の対外関係 ・室町時代の社会 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・戦国大名の分国支配と都市の発達 ・室町文化の特色 |
| 第5回 | 単元名 | 近世の日本と世界① |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流が日本に及ぼした影響 ・織豊政権による全国統一と政策目的, 意義 ・桃山文化の特色 ・江戸幕府の支配のしくみ ・近世の身分と村や町での生活 ・江戸幕府の対外政策 |
| 第6回 | 単元名 | 近世の日本と世界② |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・武断政治から文治政治への転換 ・産業の発達と文化の興隆 ・享保の改革と経済の発展 ・18世紀中後期の政治, 社会, 文化 ・18世紀末～19世紀前半の政治, 社会, 文化 |
| 第7回 | 単元名 | 近現代の地域・日本と世界① |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・開国と開港による日本の変化 ・江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程 |
| 第8回 | 単元名 | 近現代の地域・日本と世界② |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治初期の諸政策と文化、教育 ・明治初期の対外政策 ・自由民権運動の展開 ・近代的制度の導入と欧米列強 ・条約改正交渉と日清戦争の経緯 ・明治期の産業の発展と資本主義社会の成立 ・日露戦争の経過と日本の帝国主義化 ・第一次世界大戦と大戦期の産業や文化, 大衆社会 ・大正期の政治と社会運動の高まり ・大戦期の日本の対外政策 ・昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動揺 ・満洲事変と日中戦争 ・第二次世界大戦に至る過程と大戦中の政治, 社会, 国民生活 |
| 第9回 | 単元名 | 近現代の地域・日本と世界③ |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・占領下の政治と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と日本の復興 ・日本の国際復帰と独立回復後の政治, 経済, 対外関係 ・高度経済成長後の日本と世界の政治, 経済 ・20世紀末の世界と日本の動き ・21世紀の日本の課題 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】 律令国家の形成と古墳文化の発展</p> <p>【9月～10月実施】 歴史資料と近世の展望（参勤交代の意義）</p> <p>【11月実施】 政党政治とデモクラシー</p> <p>【12～3月実施】 国際社会への復帰と対米協調</p> <p>【オンライン授業】 鎌倉の仏教と文化</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ・諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切、かつ、効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> |
|---|

・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。

・考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。

【主体的に学習に取り組む態度】

・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

「世界史探究」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|-------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史探究 | 単位 | 3 単位 |
|----|------|----|-------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 3 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|-----------------------|
| 教科書 | 東京書籍「世界史探究」(世探 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 9 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | |
|------------------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第 1 回 | 単元名 諸地域の歴史的特質① |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 ・農耕と牧畜のはじまりによる人類の生活様式の変化 ・自然環境に応じて誕生した文明と、その社会への影響 |
| 第 2 回 | 単元名 諸地域の歴史的特質② |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 ・アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点 ・アテネの民主政 ・ローマが共和政から帝政に移行した理由 ・ローマ帝国の政治、社会、宗教の変化やキリスト教の広まり ・地中海世界とアジアのつながり ・イスラームの特色 ・東西ヨーロッパの変容 |
| 第 3 回 | 単元名 諸地域の歴史的特質③ |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 ・南アジアの国家、社会、諸宗教の特徴 ・東南アジア地域における国家形成と交易や思想・文化の関係 ・秦漢帝国や匈奴帝国の誕生と性格 ・中国と周辺地域の交流 ・隋唐帝国による諸地域の統合 ・日本や東アジアの国々による、隋唐の文化の受容 ・トルコ系民族のユーラシア大陸への広がり ・ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴 |
| 第 4 回 | 単元名 諸地域の交流と再編① |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・カリフと地方政権 ・イスラーム文明の特徴 ・西ヨーロッパの封建社会の成立過程 ・東ヨーロッパの民族・国家・宗教の結びつき ・西ヨーロッパの農業, 商業, 都市 ・中世西ヨーロッパの文化に影響を及ぼした他文化とキリスト教 ・中世後期の西ヨーロッパにおける社会的・政治的変動 ・ルネサンスの社会的背景と影響 ・10世紀の東アジア諸国の大変動と唐宋変革 ・モンゴル帝国の発展の過程とアジアに及ぼした変化 ・イスラームのインド社会への広がり ・東南アジアにおける国家の発展過程 |
| 第5回 | 単元名 | 諸地域の交流と再編② |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・アジアの交易世界がマラッカを中心に再編された理由 ・ポルトガルのアジア進出の理由とその影響 ・明の国内重視の国家体制と活発な交易の両立 ・スペインのアメリカ, アジア進出とその影響 ・ムガル帝国の繁栄と世界の諸地域の動きとの関連 ・清が多様な文化や宗教を有する人々を, 長期にわたり統治できた理由 |
| 第6回 | 単元名 | 諸地域の交流と再編③ |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・近世の主権国家の特徴 ・国家の形成と宗教のかかわり ・オランダの繁栄と英仏の国家建設の関係 ・三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響 ・ヨーロッパ諸国の貿易と植民地建設が, ヨーロッパ, アフリカ, アメリカ大陸に与えた影響 ・英仏に追いつこうとした新興国で行われた改革 ・自然科学, 哲学, 芸術などの分野で生まれた新しい思想 |
| 第7回 | 単元名 | 一体化していく世界① |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスで産業革命がはじまった原因 ・北アメリカの政治変革によって獲得された権利と権利を認められなかった人々 ・フランス革命の展開と他国への影響 ・1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事の背景と課題 ・ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争の結果 ・南北戦争前後の時代のアメリカの社会が抱えていた課題 ・イギリスの急速な工業化が変えた世界の結びつき方 ・南アジアと東南アジアの各地における植民地支配の拡大 ・アヘン戦争の背景とイギリスの勝利が意味したもの ・西アジアの諸国で生じた変革とその背景 ・南アジアと東南アジアの民族運動のそれぞれの特徴 |
| 第8回 | 単元名 | 一体化していく世界② |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦が長期化した理由 ・大戦前後の国際秩序のあり方の変化とその理由 ・戦間期アメリカの大衆社会が, ほかの諸国に与えた影響 ・第一次世界大戦が, アジア各地の独立運動や民族形成に与えた影響 ・世界恐慌が諸地域の経済体制, 政治体制に与えた影響 ・世界恐慌が国際協調体制に与えた打撃 ・第二次世界大戦のはじまりと展開 ・大戦後半に構想された国際秩序の再建と冷戦への展開 ・連合国の戦後構想とその実現方法 ・敗戦後の日本の解体 ・日本の植民地や占領地域が置かれた状況 ・大戦終結後の植民地支配と, 独立した国が直面した課題 ・朝鮮戦争と東アジアにおける冷戦の形成 |
| 第9回 | 単元名 | グローバル化と地球的課題 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦のもとで模索された世界の平和 ・独立したアジア・アフリカ諸国が直面した課題と, これらの国家の出現が国際社会に与えた影響 ・東西のバランスの推移と多極化の進展 ・1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因と世界に与えた影響 ・アジア, アフリカ, ラテンアメリカ各国や社会の冷戦への対応 ・冷戦の終結過程と冷戦後の世界秩序 |

| | | |
|--|--|------------------|
| | | ・グローバル化によって生じた課題 |
|--|--|------------------|

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】東アジアと中央ユーラシア

【9月～10月実施】中世ヨーロッパ

【11月実施】産業革命と工業化

【12～3月実施】冷戦と政治・世界秩序

【オンライン授業実施】大交易時代と世界の一体化

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。
諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。

【思考・判断・表現】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。

考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。

「公共」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|------|
| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|---------------------|
| 教科書 | 教育図書「高等学校公共」(公共702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | |
|---------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第1回 | 単元名 公共とは |
| 提出期限 6月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間と人間の関わりについて学ぼう。 ・個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性などを学ぼう。 ・人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを学ぼう。 ・人間は対話を通して互いの立場を理解し高め合う存在であることを学ぼう。 |
| 第2回 | 単元名 現代社会と法 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・法の特徴をつかみ、法の分類、階層関係について学ぼう。 ・私たちがさまざまな契約を結んでいることを学ぼう。 ・消費者保護、消費者自立の考え方を学ぼう。 ・三権分立において司法権の果たしている役割を学ぼう。 ・裁判員制度の目的と意義を学ぼう。 ・国民審査や検察審査会など、市民が司法参加するさまざまな制度を学ぼう。 ・刑事裁判と民事裁判の目的や、手続きの違いを学ぼう。 |
| 第3回 | 単元名 現代社会と政治 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・政党政治のしくみを学ぼう。 ・世論、ポピュリズムについて学ぼう。 ・立法の手続き、議院内閣制、行政の仕組み、三権分立を学ぼう。 ・直接民主制の仕組み、地方財政問題、地方分権の課題を学ぼう。 ・国家の要件、紛争解決手段、日本が抱える領土問題を学ぼう。 ・日本の安全保障の変化を学ぼう。 ・戦後、日本が国際社会において果たしてきた役割や、国連の成立と仕組みを学ぼう。 ・SDGs が成立した経緯とその背景にある格差問題について学ぼう。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 第4回 | 単元名 | 現代社会と経済(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や、生活とのバランスを学ぼう。 ・人間とAIの共存や仕事の変化について学ぼう。 ・日本型経営や雇用システム、日本の労働環境の課題点を学ぼう。 ・労働法制の基本構造を学ぼう。 ・歳入・歳出、予算の編成など財政について学ぼう。 ・租税の種類や特徴、税制度の公平性を学ぼう。 ・公債の種類と特徴について学ぼう。 ・公営、民営のそれぞれの利点と課題を学ぼう。 ・少子高齢化と社会保障制度の維持について学ぼう。 ・市場は万能ではなく、法規制や公的機関による介入を必要とすることを学ぼう。 |
| 第5回 | 単元名 | 現代社会と経済(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融が果たす役割、金融市場の仕組みを学ぼう。 ・日本銀行の役割、金融政策の目的、景気や物価に影響を与えるメカニズムを学ぼう。 ・金融の自由化、国際化について学ぼう。 ・世界経済の相互依存関係が引き起こす影響を学ぼう。 ・地域経済統合がもたらすメリットとデメリットを自由貿易、保護貿易の観点から学ぼう。 ・南北問題、南南問題という地域的格差が生じていることを学ぼう。 ・国際機構が格差是正のために果たしている役割を学ぼう。 ・多文化主義の考え方を学ぼう。 |
| 第6回 | 単元名 | 持続可能な社会へ |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共での学びを、主体として社会に参画する場までつなげていくにはどうすべきかを学ぼう。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】公共と人</p> <p>【9月～10月実施】法と社会</p> <p>【11月実施】職業選択/テーマ学習①AIの進化は仕事をどう変えるか？</p> <p>【12月～3月実施】SDGsの実現のために私たちができること</p> <p>【オンライン授業実施】格差是正と多文化主義</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>3. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。</p> |
|---|

「数学 I」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 数学 | 科目 | 数学 I | 単位 | 3 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 3 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新数学 I」(数 I 704) |
| 副教材 | 東京書籍「新数学 I 解答編」(数 I 705) |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 9 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|------------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 数の計算 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | 正負の数の加減法/正負の数の乗除法/正負の数の利用 |
| 第 2 回 | 単元名 | 数と式 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <p>文字を使った式/多項式と単項式/多項式の加法・減法/多項式の乗法/乗法公式/因数分解/展開、因数分解のくふうと利用/平方根/根号をふくむ式の計算/数の分類/分数と小数</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、同類項、多項式の次数、n 次式など、式についての用語の意味を理解する。 多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。 有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 方程式と不等式 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <p>1 次方程式/不等式/不等式の性質/不等式の解/不等式の解き方/2 次方程式とその解き方/2 次方程式の解の公式</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 次方程式について理解し、1 次方程式を解くことができる。 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。 |
| 第4回 | 単元名 | 2次関数とそのグラフ |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <p>関数/1次関数とそのグラフ/2次関数とそのグラフ/グラフの平行移動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化する2つの変数の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。 ・1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 ・2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフを x 軸方向や y 軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。 |
| 第5回 | 単元名 | 2次関数 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <p>2次関数の最大値・最小値/2次関数のグラフと2次方程式/2次関数のグラフと2次不等式/いろいろな2次不等式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。 ・2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。 |
| 第6回 | 単元名 | 三角比(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <p>三角形/タンジェント/サインとコサイン/三角比の利用/三角比の相互関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 ・サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。 |
| 第7回 | 単元名 | 三角比(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>三角形の面積/正弦定理/余弦定理/鈍角の三角比/三角比の相互関係/鈍角の三角比の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・座標を用いて定めることで 0° から 180° までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ-\theta$ の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式が成り立つことを理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。また、三角比を空間図形の計量に活用することができる。 |
| 第8回 | 単元名 | データの分析 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>データにもとづいた問題解決の進め方/データの特徴の調べ方/代表値/四分位数と箱ひげ図/分散と標準偏差/相関関係/相関係数/データにもとづく考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 ・データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解し、目的やデータに応じて、度数分布表、ヒストグラムなどに表すことができる。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの散らばり具合を表す四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。 ・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・相関関係について理解する。 ・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し、相関の強さが表せることの有用性を認識できる。 ・仮説検定の考え方を理解する。 |
| 第9回 | 単元名 | 集合と論証 |

| | | |
|----------------|----|--|
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <p>集合／命題と集合／命題と証明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 ・命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学ぶ。 |
|----------------|----|--|

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>1章 数と式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方程式 <p>2章 2次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の値の変化 <p>5章 集合と論証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命題と証明 <p>3章 三角比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鋭角の三角比 <p>4章 データの分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表値 <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>高等教育における数学の基礎知識とその活用方法を全般的に身につける。 身につけた知識を用いて、日常生活で発生する課題の解決方法を考えることができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>数学を扱うことを通じて数学的・演繹的思考力を向上させる。 他者と共同しながら問題解決にあたることで、論理的に思考したり説明したりする力を養う。 身につけた知識をどのように扱えば良いか判断する力を身につける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>数学を学習する意義を理解することで、継続的に学習し続ける意欲を育む。 学習における留意点を踏まえ、将来的に見て効果的な学習ができる態度を身につける。</p> |
|--|

「数学Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|-----|----|------|
| 教科 | 数学 | 科目 | 数学Ⅱ | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|-----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新数学Ⅱ」(数Ⅱ 7 1 7) |
| 副教材 | 東京書籍「新数学Ⅱ 解答編」(数Ⅱ 7 1 8) |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|------------------|----------|--|
| 第 1 回 | 単元名 | 式の計算 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | 3 次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。 二項定理を利用して $(a+b)^n$ の形の式を展開することができる。 分数式とその約分、乗法、除法について理解し、その計算ができる。 分数式とその通分、加法、減法について理解し、その計算ができる。 |
| 第 2 回 | 単元名 | 2 次方程式 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | 虚数単位を用いて、扱える数を実数から複素数に広げる。 複素数の演算や共役な複素数について理解する。 2 次方程式の解を求めることができる。また、2 次方程式の判別式について理解し、解の種類を判別することができる。 2 次方程式の解と係数の間に成り立つ関係を理解し、それらを用いて計算することができる。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 高次方程式/式と証明 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | 多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。 剰余の定理を用いて、多項式を 1 次式で割った余りを求めることができる。 因数定理を用いて、多項式を因数分解することができる。 高次方程式について理解し、因数分解を用いて高次方程式を解くことができる。 高次方程式を利用して、身近な問題を考えることができる。 等式、不等式を証明することができる。 相加平均と相乗平均の大小関係を用いて不等式を証明することができる。 |
| 第 4 回 | 単元名 | 座標と直線の方程式 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 数直線上の2点間の距離を求めることができる。 線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。 座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。 三角形の重心の座標を求めることができる。 直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、通る2点が与えられた直線の方程式を求めることができる。 2直線の交点の座標は、2つの直線の方程式を連立して求められることを理解する。 平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。 |
| 第5回 | 単元名 | 円の方程式/軌跡と領域 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 円の方程式について理解し、与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 円と直線の共有点の個数を、2次方程式の判別式を用いて求めることができる。 軌跡とは何かを理解し、与えられた条件からある点の軌跡を求めることができる。 不等式の表す領域を図示したり、領域を不等式で表したりすることができる。 連立不等式の表す領域を図示することができる。 |
| 第6回 | 単元名 | 三角関数 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 角の概念を一般角まで拡張する。 単位円を用いた三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。 三角関数のグラフがかけ、またその特徴を理解する。 三角関数の性質を理解し、その性質を用いて三角関数の値を求めることができる。 |
| 第7回 | 単元名 | 加法定理 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 三角関数の合成を理解し、合成ができるようになる。 弧度法の意味を理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 |
| 第8回 | 単元名 | 指数関数 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 指数の範囲を正の整数から整数全体に広げ、そのときの指数法則についても理解し、指数法則を用いて計算することができる。 累乗根の意味や性質を理解し、それらを用いて式を簡単にすることができる。 指数の範囲を分数まで広げた指数について理解し、指数法則を用いて計算することができる。 指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、累乗で表された数の大小を比較したりすることができる。 身近な問題を解決することに、指数関数を活用することができる。 |
| 第9回 | 単元名 | 対数関数 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 対数の意味を理解し、対数の値を求めることができる。 対数の性質を理解し、それらを用いて対数の計算をすることができる。 対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、対数で表された数の大小比較をしたりすることができる。 常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、常用対数を用いて整数の桁数を求めることができる。 |
| 第10回 | 単元名 | 微分係数と導関数 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 平均変化率の定義がわかり、平均変化率を求めることができる。 極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。 導関数の意味を理解し、定義に従って導関数の計算ができる。 導関数の性質を用いて、関数を微分することができる。 導関数を利用して、微分係数を求めることができる。 微分係数の図形的意味がわかり、接線の方程式を求めることができる。 |
| 第11回 | 単元名 | 導関数の応用 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。 ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。 関数の最大・最小を利用し、身近な問題を考えることができる。 |
| 第12回 | 単元名 | 積分 |

| | | |
|--------------------|----|--|
| 提出期限 12月15 日 | 概要 | 不定積分の意味を理解し、不定積分の性質を用いて不定積分を求めることができる。 定積分の意味を理解し、定積分の性質を用いて定積分を求めることができる。 定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。 |
|--------------------|----|--|

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>1章 方程式・式の証明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数・二項定理 <p>4章 指数関数と対数関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数 <p>5章 微分と積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分 <p>5章 微分と積分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積分 <p>3章 三角関数</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>関数の動きをイメージし、有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定義から理解することの重要性を知る。</p> <p>頭の中でイメージを膨らませながら考えることにより、思考力の向上を図る。</p> <p>他者と課題解決について考え、議論することで、論理的思考力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、他者との議論に参加しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
|---|

「数学 A」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 数学 | 科目 | 数学 A | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新数学 A」(数 I 704) |
| 副教材 | 東京書籍「新数学 A 解答編」(数 I 705) |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|------------------|----------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 場合の数 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <p>集合/集合の要素の個数/個数の考え方/和の法則と積の法則/順列/順列の利用/いろいろな順列/組合せ/組合せの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 補集合、和集合について、集合の要素の個数を求めることができる。 具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求めることができる。 樹形図を利用して順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 順列の考え方をいろいろな場面に利用して、条件のついた順列の総数を求めることができる。 重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 組合せの意味や性質を理解し、その総数を求めることができる。 |
| 第 2 回 | 単元名 | 確率(1) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <p>事象と確率/確率の計算/排反事象の確率/余事象の確率</p> <ul style="list-style-type: none"> 試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。 場合の数をもとに、確率を求めることができる。 確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。 余事象の確率を求めることができる。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 確率(2) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <p>独立な試行の確率/反復試行の確率/条件つき確率/期待値</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立な試行の意味を理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 反復試行について理解し、簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 条件つき確率の意味を理解する。また、確率の乗法定理を理解し、活用できる。 期待値を求めることができる。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 第4回 | 単元名 | 図形の性質(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <p>直線と角／多角形の角／三角形の合同と相似／基本の作図／作図の利用／三角形と比／三角形の重心／三角形の外心と内心／角の二等分線と線分の比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ・多角形の内角、外角の性質を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・垂直二等分線、垂線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。 ・図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。 ・三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。 |
| 第5回 | 単元名 | 図形の性質(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>円の接線／円周角の定理／円に内接する四角形／接線と弦のつくる角／方べきの定理／2つの円／直線や平面の位置関係／多面体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ・円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 ・接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。 ・2つの円の位置関係を考察できる。 ・2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。 ・多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。 |
| 第6回 | 単元名 | 数学と人間の活動 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <p>数を表す／数の表し方のしくみ／2進法／位置を表す／約数と倍数／最大公約数と最小公倍数／ユークリッドの互除法／はかる／数学で遊ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 ・10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 ・2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで、記数法に対する理解を深めることができる。また、2進法で表された数の計算ができる。 ・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。 ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。 ・長さや面積の単位を調べることができる。 ・体積や重さの単位を調べることができる。 ・古代の人々の時計や、暦（うるう年）について理解する。 ・魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。 ・これまでに学んだことを用いて図形の不思議を説明する。 ・ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知ることができる。 ・帽子の色あてパズルを解くことで、論理的に考えることのよさを知ることができる。 ・「塵劫記」の問題を通して、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>1章 場合の数と確率</p> <p>1節 場合の数</p> <p>1 集合</p> <p>1章 場合の数と確率</p> <p>2節 確率</p> <p>1 事象と確率</p> <p>2 確率の計算</p> |
|---|

- 3 排反事象の確率
- 5 独立な試行の確率
- 3章 数学と人間の活動
- 4節 数学で遊ぶ
- 5 和算で遊ぼう
- 3章 数学と人間の活動
- 1節 数や位置を表す
- 1 数を表す
- 2 数の表し方のしくみ
- 3 2進法
- 1章 場合の数と確率
- 2節 確率
- 6 反復試行の確率

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

確率や数の性質における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解し、高等教育における数学の基礎知識を知識を身に付ける。数学的活動を通して、日常生活における数学の活用方法を身につけ、創造性の基礎を培う。

【思考・判断・表現】

さまざまな事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えられる態度を育む。数学的活動を通して、創造性の基礎を培うとともに、他者と共同しながら問題解決にあたることで、論理的に思考したり説明したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学的活動を通して、確率や数の性質における考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを日常生活に活用できるよう数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 数学 | 科目 | 数学 B | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--------------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「数学 B Standard」(数 B 7 0 2) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|-------------------|----------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 数列(1) |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <p>数列とは何か、また数列についての基本的な用語の意味を理解する。</p> <p>等差数列がどのような数列であるかがわかり、一般項を求めることができる。</p> <p>等差数列の和を求めることができる。</p> <p>等比数列がどのような数列であるかがわかり、一般項を求めることができる。</p> <p>等比数列の和を求めることができる。</p> |
| 第 2 回 | 単元名 | 数列(2) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <p>和の記号 Σ の意味と性質を理解し、ある和を Σ を用いて表すことができる。</p> <p>Σ の性質や和の公式を用いて、いろいろな数列の和を求めることができる。</p> <p>階差数列を利用して、ある数列の一般項を求めることができる。</p> <p>数列の和が与えられたとき、一般項を求めることができる。</p> <p>分数で表された数列の和や各項が等差数列と等比数列の積の形をした数列の和を求めることができる。</p> <p>群に分けられた数列について考察することができる。</p> |
| 第 3 回 | 単元名 | 数列(3) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <p>漸化式の意味がわかり、漸化式を扱うことができる。</p> <p>初項と漸化式が与えられたとき、一般項を求めることができる。</p> <p>数学的帰納法について理解し、等式や整数の性質などの証明に利用できる。</p> |
| 第 4 回 | 単元名 | 統計的な推測(1) |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 | <p>全数調査や標本調査について理解し、標本の抽出法や用語などを理解する。</p> <p>確率変数、確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。</p> <p>確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数の平均(期待値)や分散、標準偏差を求めることができる。</p> <p>a, b を定数とするとき、確率変数 $aX+b$ の平均や分散、標準偏差を求めることができる。</p> <p>確率変数の和の平均を求めることができる。</p> |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | 独立な確率変数の積の平均、和の分散を求めることができる。 |
| 第5回 | 単元名 | 統計的な推測(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 二項分布がどのようなものかわかる。 確率変数が二項分布に従うときの確率や平均、分散及び標準偏差を求めることができる。 正規分布について理解し、確率変数が正規分布に従うときの確率を求めることができる。 標準正規分布について理解し、確率変数が標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。 確率変数が正規分布に従うとき、標準化して、確率を求めることができる。 二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 |
| 第6回 | 単元名 | 統計的な推測(3)/数学と社会生活 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求めることができる。 標本平均の平均と分散、標本平均がある条件を満たす確率を求めることができる。 信頼度95%の信頼区間の考え方を理解し、母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 仮説検定の考えや用語について理解し、母平均の検定、母比率の検定を行うことができる。 社会生活での様々な問題を解決するために、どのように数学を利用して予測したり考察するかを理解する。 |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名 1章 数列 2節 いろいろな数列 1 いろいろな数列の和 2章 統計的な推測 3節 正規分布 1 正規分布 2章 統計的な推測 4節 統計的な推測 2 仮説検定 3章 数学と社会生活 5節 フェルミ推定 1 フェルミ推定のよる推定 1章 数列 3節 漸化式と数学的帰納法 2 数学的帰納法 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等差数列や等比数列、数列の一般項、和など数列に関する基礎的・基本的な知識を習得し、事象の変化を漸化式で表したり、数学的帰納法を用いて結論を明らかにすることができる力を育成する。(数列) ・標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定について理解を深めるとともに、これらを活用し事象を体系的に考察する力を育成する。(統計的な推測) ・日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を定着させる。また、既習の数学の内容を活用し、事象から数学の要素を抽出する能力を育成する。(数学と社会生活) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察したり、自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察する力を育成する。(数列) ・確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて収集したを用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察する力を育成する。(統計的な推測) ・日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目し、理想化したり単純化したりして、問題を数学的に表現できる力や問題解決の過程や結果の妥当性について解決過程を振り返りながら批判的に考察することができる力を育成する。(数学と社会生活) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等差数列や等比数列などを統合的に捉えたりそれらの公式が導かれる過程を探究する数学的活動を通じて、数学的なものの見方や考え方を他の事象の考察に活用できる力を育成する。(数列) ・検定の有用性の理解を深めるとともに、日常の事象や社会の事象などの考察に統計の内容を活用しようとする態度を養うようにする。(統計的な推測) ・数学的活動を通じて、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数学の手法によって処理し、その結果を現実に照らして解釈する活動を通じて、数学的な見方・考え方を育成する。(数学と社会生活) |
|--|

「科学と人間生活」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|---------|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|---------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|----------------------|
| 教科書 | 東京書籍「科学と人間生活」(科人701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | | |
|----------------|----------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第1回 | 単元名 | 科学技術の発展 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | 科学技術の歴史と発展/エネルギーや情報技術の発展/持続可能な未来のために ・科学技術の発展について、歴史上の事例や具体的な最新科学技術を通して知る。 ・科学技術の発展に伴う課題について知る。 |
| 第2回 | 単元名 | 生命の科学 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | さまざまな微生物/私たちの暮らしへの微生物の利用 ・微生物の基本的な分類、生態系や物質循環におけるはたらきについて理解する。 ・微生物の発見の歴史、発酵や医療への応用について知る。 |
| 第3回 | 単元名 | 物質の科学 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | リサイクルとは何か/金属の性質とその再利用/プラスチックの性質とその再利用 ・3Rについて知る。 ・金属の性質や製法、さびのしくみ、再生利用について知る。 ・プラスチックの種類や構造、機能性樹脂、再生利用などについて知る。 |
| 第4回 | 単元名 | 光や熱の科学 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 光の進み方とその基本的な性質/目に見える光と色の見え方/目に見えない光とその利用 ・反射、屈折、偏光、回折、干渉について知る。 ・スペクトルや色が見えるしくみについて知る。 ・電磁波の種類や応用について知る。 |
| 第5回 | 単元名 | 宇宙や地球の科学 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 太陽と月がもたらすリズム/太陽が動かす大気と水 ・太陽の動きや暦、潮位の変動と周期性について知る。 ・太陽活動や太陽の放射エネルギー、大気の循環や海流と気候との関係について理解する。 |
| 第6回 | 単元名 | 課題研究 |
| 提出期限 | 概要 | 課題研究 |

| | |
|--------|-------------------------------|
| 12月15日 | ・研究の進め方、実験結果のまとめ方、報告方法について知る。 |
|--------|-------------------------------|

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】科学技術の発展・微生物とその利用

【9月～10月実施】材料とその再利用

【11月実施】光の性質とその利用・熱の性質とその利用

【12月～3月実施】太陽と地球・自然災害

【オンライン授業実施】電磁波の利用・空気の性質と大気現象

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】

自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

「物理基礎」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 物理基礎 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|-------------------|
| 教科書 | 東京書籍「物理基礎」(物基702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | |
|----------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第1回 | 単元名 直線運動の世界 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 運動の表し方/変位と速度/等速直線運動/合成速度と相対速度/速度が変わる運動/自由落下運動/鉛直投射/水平投射 ・物体の表し方について、直線運動を中心に運動する物体の変位や速度、加速度の表し方について知る。 ・自由落下する物体の運動や鉛直投射、水平投射された物体の運動の表し方について理解する。 |
| 第2回 | 単元名 力と運動の法則 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 力とつり合い/力の合成と分解/垂直抗力と弾性力/慣性の法則/「運動の変化」と「力」/作用・反作用の法則/動摩擦力とその性質/静止摩擦力とその性質/空気の抵抗力/水圧と浮力 ・力の3要素と、物体に接してはたらく力や離れてはたらく力について知る。 ・力のつり合い、ニュートンの運動の3法則について理解する。 |
| 第3回 | 単元名 力学的エネルギー |
| 提出期限 8月15日 | 概要 仕事/仕事率/運動エネルギー/位置エネルギー/力学的エネルギーの保存/いろいろな運動でみる力学的エネルギー ・仕事、運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーの表し方を知る。 ・力学的エネルギーが保存される場合とされない場合などについて理解する。 |
| 第4回 | 単元名 熱 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 温度と熱/熱と物質/熱の移動と保存/熱機関と不可逆変化 ・原子や分子の熱運動と温度との関係、絶対温度、物質の三態について学習する。 ・熱容量や比熱容量、熱量の保存、内部エネルギー、熱現象の不可逆性や熱効率について理解する。 |
| 第5回 | 単元名 波 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 いろいろな波/波の表し方/横波と縦波/波の重ね合わせ/定在波/波の反射/音波/弦の固有振動/気柱の固有振動 ・波を表す基本的な量や性質、波の重ね合わせ、定在波、反射について学習する。 ・音波について、うなりや弦の共振、気柱の共鳴について理解する。 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 第6回 | 単元名 | さまざまな物理現象とエネルギー |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 動いていない電気、動いている電気／電流と電気抵抗／直列接続と並列接続／電力と電力量／電流がつくる磁場／発電機のしくみ／直流と交流／電磁波／エネルギーの変換と保存／原子核のエネルギー／放射線の利用と安全性／エネルギーの利用と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・オームの法則、物質の抵抗率の違い、交流の発生、送電、変圧について知る。 ・電磁波の種類や性質について理解する。 ・エネルギー保存の法則、エネルギー資源について理解する。 ・原子力について、核分裂や核融合、放射線の特徴や利用、その課題について知る。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】力、力学的エネルギー</p> <p>【9月～10月実施】熱力学</p> <p>【11月実施】波動</p> <p>【12月～3月実施】電磁気学</p> <p>【オンライン授業実施】エネルギー</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、力、運動エネルギーと位置エネルギーについて仕事と関連付けて基本的な概念や法則を理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 日常に存在する物理現象のなかに力、仕事やエネルギーに関する問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p> |
|---|

「物理」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 物理 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 16 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 320 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|------------------|
| 教科書 | 東京書籍「物理」(物理 701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|------------------|----------|--|
| 第 1 回 | 単元名 | さまざまな運動(1) |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・平面内の運動を表す変位、速度、加速度の表し方や合成速度と相対速度を学習します。 ・水平投射と斜方投射における変位、速度、加速度や重力のはたらきについて学習します。 ・空気の抵抗力を受ける物体の落下運動について学習します。 ・平面内で剛体にはたらく力と力のモーメントのつり合い、物体の重心について学習します。 |
| 第 2 回 | 単元名 | さまざまな運動(2) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・力積と運動量の関係、物体の衝突における運動量の保存について学習します。 ・衝突と力学的エネルギーの変化について学習します。 |
| 第 3 回 | 単元名 | さまざまな運動(3) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・等速円運動する物体のようすの表し方やその物体にはたらく力について学習します。 ・加速度運動時における慣性力について学習します。 ・単振動する物体の変位、速度、加速度の表し方やその物体にはたらく力について学習します。 ・惑星の運動に関する法則や、万有引力の法則および万有引力による物体の運動について学習します。 |
| 第 4 回 | 単元名 | さまざまな運動(4) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則、気体の状態方程式について学習します。 ・気体分子の運動と、圧力や温度、内部エネルギーとの関係を学習します。 ・気体の状態変化におけるエネルギーの変化を学習します。 ・熱機関の熱効率や熱力学第 1 法則、熱力学第 2 法則について学習します。 |
| 第 5 回 | 単元名 | 波(1) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・波を表す式について学習します。 ・波の反射、屈折、回折、干渉やホイヘンスの原理を学習します。 ・音の屈折、干渉と回折について学習します。 ・音のドップラー効果と反射について学習します。 |
| 第 6 回 | 単元名 | 波(2) |
| 提出期限 9 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・光の伝わり方について、光の速さ、波長、反射、屈折、分散、偏光、錯乱を学習します。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングの実験、回折格子などを用いて、光の回折と干渉について学習します。 ・レンズや鏡を通る光について学習します。 |
| 第7回 | 単元名 | 電気と磁気(1) |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・静電気力や電場（電界）の表し方、電気量の保存、電場の性質、電気力線を学習します。 ・静電気力による位置エネルギーと電位について学習します。 ・電場のなかの物体について考察します。 |
| 第8回 | 単元名 | 電気と磁気(2) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・平行板コンデンサーの充電と放電、電気容量、静電エネルギー、合成容量について学習します。 ・抵抗率の温度変化、キルヒホッフの法則、電池の起電力と内部抵抗、ホイートストンブリッジなどを学習します。 ・コンデンサーを含む回路について学習します。 ・半導体について学習します。 |
| 第9回 | 単元名 | 電気と磁気(3) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・磁場（磁界）の向きや強さの表し方について学習します。 ・直線状の電流がつくる磁場や、曲線上の電流がつくる磁場を学習します。 ・電流が磁場から受ける力やローレンツ力について学習します。 |
| 第10回 | 単元名 | 電気と磁気(4) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・誘導起電力の向きや大きさについてコイルの巻数および磁束の時間変化と関連付けて学習します。 ・電磁誘導について、自己誘導や相互誘導、交流発電機の仕組みを学習します。 ・交流回路について、コイルやコンデンサーのリアクタンスや直列接続のインピーダンスについて学習します。 ・電磁波について、その性質と利用について学習します。 |
| 第11回 | 単元名 | 原子(1) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・電子に関する歴史的な実験を扱い、電子の比電荷、電気素量について学習します。 ・光子とは何かを学び、光電効果について学習します。 ・X線の特徴について学習します。 ・物質波を扱い、電子や光の粒子性や波動性について学習します。 |
| 第12回 | 単元名 | 原子(2) |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造およびスペクトルとエネルギー準位について学習します。 ・原子核の構成や区別の仕方について学習します。 ・放射性原子核の特徴を学び、崩壊、半減期について学習します。 ・核反応について学び、エネルギーと質量の等価性について学習します。 ・素粒子の種類や性質、反応について学習します。 |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】力学</p> <p>【9月～10月実施】熱力学</p> <p>【11月実施】波</p> <p>【12月～3月実施】電磁気学</p> <p>【オンライン授業実施】全範囲</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら、力学について仕事と関連付けて基本的な概念や法則を理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>日常に存在する物理現象のなかに力学に関する問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p> |
|--|

「化学基礎」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 化学基礎 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|-------------------|
| 教科書 | 東京書籍「化学基礎」(化基702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|----------------|----------|--|
| 第1回 | 単元名 | 化学と人間生活 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <p>物質の成分/物質の構成元素/物質の三態</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会を支える物質の利用を通して、化学に対する興味関心を高める。 日常生活や社会において物質が適切に使用されていることを通して、物質とその変化について理解を深める。 物質の分離・精製や元素の確認について学び、単体、化合物および混合物について理解する。 粒子の熱運動と温度、物質の三態との関係について理解する。 |
| 第2回 | 単元名 | 物質の構成(1) |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>原子の構造/電子配置と周期表/イオンとイオン結合</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子の構造と陽子、中性子、電子の性質について知る。 元素の周期律と原子の電子配置、周期表の族や周期との関係について理解する。 イオンの生成を電子配置と関連づけて理解する。 イオン結合とイオン結晶の性質・用途を理解する。 |
| 第3回 | 単元名 | 物質の構成(2) |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <p>分子と共有結合/金属と金属結合/化学結合と物質の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有結合を電子配置と関連づけて理解する。 分子からなる物質の性質・用途を理解する。 金属結合と金属の性質・用途を理解する。 |
| 第4回 | 単元名 | 物質の変化(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <p>原子量・分子量・式量/物質質量/溶液の濃度/化学反応の表し方/化学反応式の表す量的関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質質量と粒子数、質量、気体の体積、溶液の濃度との関係について理解する。 化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 |
| 第5回 | 単元名 | 物質の変化(2) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>酸と塩基/水素イオン濃度とpH/中和反応と塩の生成/中和滴定</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の性質や定義、その強弱と電離との関係を知る。 酸、塩基の価数と、中和反応における物質の量的関係について理解する。 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 第6回 | 単元名 | 物質の変化(3) |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 酸化と還元／酸化剤と還元剤／金属の酸化還元反応／酸化還元反応の応用 <ul style="list-style-type: none"> ・酸化と還元が、電子の授受や酸化数の増減によって定義付けられることを理解する。 ・酸化と還元が常に同時に起こることを知る。 ・酸化還元反応と日常生活とのかかわりについて知る。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】化学とは何か 物質の成分と構成元素</p> <p>【9月～10月実施】化学結合</p> <p>【11月実施】物質と化学反応式</p> <p>【12月～3月実施】酸と塩基</p> <p>【オンライン授業実施】結合について 物質と化学反応式</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>観察、実験などを行い、様々な事象を科学的に考察し表現したりなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物質とその変化に主体的に関わり、見通しを持って振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> |
|---|

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 化学 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 16 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 320 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | 東京書籍「化学 Vol.1 理論編」(化学 701) 東京書籍「化学 Vol.2 物質編」(化学 702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|------------------|----------|---|
| 第 1 回 | 単元名 | 物質の状態(1) |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・状態変化に伴うエネルギーの出入りについて学習します。 ・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて学習します。 ・圧力の単位と大気圧について学習します。 ・気体の体積と圧力や温度との関係を学習します。 ・理想気体と実在気体の違いについて学習します。 |
| 第 2 回 | 単元名 | 物質の状態(2) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・溶解のしくみを学習します。 ・溶解度を溶解平衡と関連付けて学習します。 ・質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度の計算方法について、単位を確認しながら学習します。 ・ファンツホッフの法則を確認し、浸透圧からの分子量の求め方について学習します。 ・コロイドの定義と分類について学習します。 ・結晶格子の定義および結晶の構造を学習します。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 化学反応とエネルギー |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応の前後における物質の持つ化学エネルギーの差から生じることを学習します。 ・ヘスの法則(総熱量保存の法則)について学習します。 ・電池の仕組みを酸化還元反応と関連付けて学習します。 ・電気分解の基本的な用語を確認し、水溶液の電気分解で起こる酸化還元反応について学習します。 |
| 第 4 回 | 単元名 | 化学反応の速さと平衡(1) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を学習します。 ・可逆反応、化学平衡について学習します。 ・ルシャトリエの原理について学習します。 |
| 第 5 回 | 単元名 | 化学反応の速さと平衡(2) |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・弱酸や弱塩基の電離平衡について学習します。 ・水のイオン積の関係式を用いた pH の求め方について学習します。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・緩衝液の反応について学習し、緩衝作用と滴定曲線を理解します。 ・溶解度積とは何かを学び、溶解平衡と金属イオンの分離について学習します。 |
| 第6回 | 単元名 | 無機物質(1) |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎での学習を元に、周期表の分類について学習します。 ・水素の単体の製法・性質と用途を学習します。 ・貴ガスの性質を学習します。 ・酸素の製法について確認し、化合物について学習します。 ・ハロゲン、硫黄、窒素、リン、炭素、ケイ素の単体とその化合物の性質について学習します。 |
| 第7回 | 単元名 | 無機物質(2) |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・典型金属元素の性質を周期表に基づいて整理します。またその化合物について性質や用途について学習します。 ・ナトリウムの化合物の性質と製法を学習します。 ・遷移元素の特徴と錯イオンについて学習します。 ・金属イオンを検出できる反応および系統分離について学習します。 |
| 第8回 | 単元名 | 有機化合物(1) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の特徴や構造について学習します。 ・同じ化学式でも構造が異なる物質が複数存在することを学習します。 ・有機化合物の構造式決定の手順について学習します。 ・元素分析の方法を確認し、組成式の決定方法について学習します。 ・有機化合物である炭化水素について学習します。 |
| 第9回 | 単元名 | 有機化合物(2) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物について、官能基をもつ化合物のことを学習します。 ・アルコールの構造と分類、また、その性質および反応について学習します。 ・カルボニル化合物の分類を学習します。 ・銀鏡反応とフェーリング液の還元反応、ヨードホルム反応について学習します。 ・エステルの構造と性質について学習します。 |
| 第10回 | 単元名 | 有機化合物(3) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物の構造、性質および反応について学習します。 ・フェノール類と芳香族カルボン酸の性質について学習します。 ・芳香族アミンやアゾ化合物の構造や性質について学習します。 ・芳香族化合物の混合物から各化合物を分離する方法を学習します。 |
| 第11回 | 単元名 | 高分子化合物(1) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物とは何かを学習します。 ・糖類の分類について学習します。 ・デンプン、セルロース、グリコーゲンについて、それぞれの特徴を学び、その違いを学習します。 ・アミノ酸の種類や結合について学習します。 ・タンパク質の成分と形状による分類について学習します。 |
| 第12回 | 単元名 | 高分子化合物(2)・化学が果たす役割 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・合成繊維の種類とそれぞれの構造や性質について学習します。 ・合成樹脂の種類とそれぞれの構造や性質について学習します。 ・天然ゴム(生ゴム)の特徴と構造について学習し、合成ゴムの構造と用途について学習します。 ・日常生活の中の化学について考え、様々な物質と人間生活の関連について学習します。 ・物質を通して未来を考えます。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】物質の状態・化学反応とエネルギー</p> <p>【9月～10月実施】化学反応の速さと平衡</p> <p>【11月実施】無機物質</p> <p>【12月～3月実施】有機化合物</p> <p>【オンライン授業実施】高分子化合物</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、</p> |
|---|

科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけている。

【思考・判断・表現】

グループワークや実験、練習問題に取り組む中で自身の考えを整理でき、言葉で説明することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

化学の基本的な概念や法則について理解を深めようとしている。

また、学んだ内容を観察・実験を通して物質の性質を結びつけながら理解しようとする。

「生物基礎」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 生物基礎 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|-------------------|
| 教科書 | 東京書籍「生物基礎」(生基702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|----------------|----------|--|
| 第1回 | 単元名 | 生物の特徴 |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | 生物の多様性/生物の共通性/細胞の特徴/生体とATP/酵素のはたらき/呼吸と光合成 ・「生物の多様性と共通性」と「生物の特徴」について理解する。 ・真核生物、原核生物の細胞の基本的な構造が同じであることを知る。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について学習する。 ・すべての生物が呼吸や光合成でATPを獲得していることを理解する。 |
| 第2回 | 単元名 | 遺伝子とそのはたらき |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | 生物と遺伝子/DNAの構造/DNAの複製と分配/タンパク質/タンパク質と遺伝情報/細胞の分化と遺伝子 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの構造、ゲノムについて理解する。 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。 |
| 第3回 | 単元名 | 生物の体内環境の維持(1) |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 体内環境/神経系による情報伝達/内分泌系による情報伝達/血糖濃度の調節 ・神経系と内分泌系によって、ヒトの恒常性が支えられていることを理解する。 |
| 第4回 | 単元名 | 生物の体内環境の維持(2) |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 免疫のしくみ/免疫の応用/免疫とさまざまな疾患 ・免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する。 |
| 第5回 | 単元名 | 生物の多様性と生態系(1) |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 身のまわりの植生/植生の遷移/遷移とバイオーム ・陸上にはさまざまな植生がみられることを知る。 ・植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・現存するバイオームは、遷移を経て成立することを理解する。 |
| 第6回 | 単元名 | 生物の多様性と生態系(2) |
| 提出期限 | 概要 | 生態系における生物の多様性/生態系における生物間の関係/生態系と人為的攪乱/生態系の保全 ・生態系における種多様性について理解する。 |

| | |
|--------|-----------------------------|
| 12月15日 | ・生態系のバランス、生態系の保全の重要性について知る。 |
|--------|-----------------------------|

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】生物の多様性、酵素の働き

【9月～10月実施】DNAの構造

【11月実施】体内環境の維持

【12月～3月実施】免疫とヒト

【オンライン授業実施】植生、生態系

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

生物学で頻出の単語や、生物の分類、体内で起こす現象について理解するとともに、人に対して説明をすることができる。また、実験を正確に行い、迅速に実施する能力を持っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

人間にとって身近に関わる様々な現象について、生物学的な観点から説明することができる。

また、答えのない問いについて自ら考察し、意見をまとめ他者に発表することができる。

【関心・意欲・態度】

身近な現象について、なぜそのような現象が起こるのかなどを自ら積極的に調べ、まとめることができる。

授業外でも生物について意欲的に学習しようとしている。

「生物」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 生物 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 16 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 320 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|------------------|
| 教科書 | 東京書籍「生物」(生物 701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 12 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|------------------|----------|--|
| 第 1 回 | 単元名 | 生命の起源と細胞の進化 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 進化は生物に何をもたらすかを学習します。 原始地球において、生物の体をつくる有機物はどのように誕生したかを学びます。 地球の大気中の酸素濃度の上昇は、どのような生物のはたらきによるものかを学びます。 |
| 第 2 回 | 単元名 | 遺伝子の変化と進化の仕組み |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 突然変異と形質の関係に基づいて、遺伝子の変化が進化と関わることを学習します。 遺伝的変異は、どのようにして生じるのかを学びます。 有性生殖にはどのような特徴があるかを学びます。 進化が生じる条件について学習します。 生存や繁殖における有利性にかかわる対立遺伝子の割合は、世代を経てどのように変化するかを学びます。 新たな種はどのように生じるかを学びます。 |
| 第 3 回 | 単元名 | 生物の系統と進化 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 塩基配列やアミノ酸配列と生物種の系統関係を扱い、人類の系統と進化についても学習します。 生物の進化の道筋である系統は、何を調べればわかるかを学びます。 生物の世界は、どのように分類されているかを学習します。 ヒトとそのほかの霊長類との違いを学びます。 人類の、現生のヒトに至るまでの変遷について学習します。 |
| 第 4 回 | 単元名 | 細胞と物質 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 細胞がどのような成分で構成されているかを学びます。 生体膜の特徴について学習します。 真核細胞に含まれる構造体のはたらきについて学習します。 タンパク質の構造について学習します。 酵素の特徴について学習します。 生体膜での物質の輸送やホルモンによる情報伝達に、タンパク質がどのようにかかわっているかを学びます。 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 第5回 | 単元名 | 代謝とエネルギー |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・代謝の反応がエネルギーをどのように蓄えたり、取り出したりするかを学習します。 ・呼吸において、どのように有機物のエネルギーを用いて、ATPがつくられるのかを学習します。 ・発酵において、どのように有機物のエネルギーを用いて、ATPがつくられるのかを学習します。 ・光合成において、どのように光エネルギーを用いて、有機物がつくられるのかを学習します。 |
| 第6回 | 単元名 | 遺伝情報とその発現 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・DNAが複製されるしくみや遺伝子発現について、セントラルドグマの流れに沿って学習します。 ・DNAの構造の特徴について学習します。 ・DNAの2本鎖がどのように複製されるのかを学びます。 ・遺伝情報に基づくタンパク質の合成の過程について学びます。 ・DNAの遺伝情報がどのようにRNAへ転写されるのかを学習します。 ・mRNAの情報がどのようにタンパク質に翻訳されるのかを学習します。 ・DNAの塩基配列が変化すると、アミノ酸配列にどのような影響があるかを学びます。 |
| 第7回 | 単元名 | 発生と遺伝子発現 |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の発現が調節されるしくみについて、関係する酵素のはたらきについて学習します。 ・原核生物において、遺伝子が発現するか否かが何によって決まっているかを学びます。 ・真核生物において、遺伝子発現がどのようなしくみで調節されるかを学びます。 ・動物の発生が、どのように始まり、どのように進行するかを学習します。 ・発生の早い時期の胚の各部分が成体のどの部分になるかはいつごろから、どのように決まっていくのかを学びます。 ・細胞と遺伝子発現の調節と、発生でみられる現象との関係について学習します。 ・動物の体の形を決める遺伝情報がどのようなものかを学び、また体の形がどのように決まるのかを学習します。 |
| 第8回 | 単元名 | 遺伝子を扱う技術 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・PCR法を用いた遺伝子解析の技術や、遺伝子組換え技術について学習します。 ・遺伝子を増幅する技術について学習します。 ・遺伝子の塩基配列を解読する方法について学びます。 ・生物に遺伝子を導入する技術について学習します。 ・遺伝子や細胞を扱う技術にどのような課題があるかを考えます。 |
| 第9回 | 単元名 | 動物の反応と行動 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物における刺激の受容から反応までの流れや、それぞれのメカニズムについて、神経細胞の特徴に触れながら学習します。 ・動物が受容した刺激の情報がどのような経路で効果器に伝わるのかを学びます。 ・ニューロンは受け取った刺激をどのように電気的な信号に変換しているかを学びます。 ・ニューロンの軸索における興奮の伝わり方、ニューロン間での情報の伝達のしくみについて学習します。 ・受容器の刺激に対する反応について学習します。 ・中枢神経系における情報の処理について学習します。 ・筋収縮のしくみについて学習します。 ・動物の行動について、アメフラシやカイコガの具体的な行動を題材に学習します。 |
| 第10回 | 単元名 | 植物の環境応答 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・植物の成長や反応と植物ホルモンの関係について、植物を取り巻く環境や成長段階と関連付けて学習します。 ・被子植物がどのように形づくられていくかを学びます。 ・種子の発芽が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・茎や根の成長が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・気孔の開閉が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・花芽形成が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・果実の形成と成熟、植物の器官の老化や脱落が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 |
| 第11回 | 単元名 | 個体群と生物群集 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・個体群の特徴を知るために着目すべき点について学習します。 ・個体群の大きさの変化について学習します。 ・個体間にはどのような協力・対立関係があるかを学びます。 ・種間の相互作用について学習します。 ・生物群集における多様の共存のしくみについて学習します。 |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 第12回 | 単元名 | 生態系 |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの移動と物質の循環のかかわりについて学習します。 ・生産者や消費者の物質収支について学習します。 ・種。遺伝子。生態系の多様性の関係について学習します。 ・人間活動が生態系に及ぼす影響，生態系の保全・復元について学習し，生態系の保全と人間生活をどのように両立させればよいかを考えます。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】生体物質と細胞、生命現象を支えるタンパク質、遺伝情報の発現</p> <p>【9月～10月実施】遺伝子の働き</p> <p>【11月実施】生殖と発生</p> <p>【12月～3月実施】生物の環境応答</p> <p>【オンライン授業実施】生態と環境</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>生物や生物現象についての観察，実験などを行うことを通して，生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験，調査等に関する基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生物や生物現象を対象に，探究の過程を通して，自然の事物・現象を，質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を習得している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>生物や生物現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度が養われている。生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度や，自然の事物・現象を総合的に考察しようとしている。</p> |
|---|

「地学基礎」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 理科 | 科目 | 地学基礎 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|-------------------|
| 教科書 | 東京書籍「地学基礎」(地基702) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | | |
|----------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第1回 | 単元名 | 私たちの大地(1) |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <p>地球の形と大きさ/地球の構造/地球内部の動きとプレート/大地形の形成と地質構造/変成岩と変成作用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球の形と大きさをその解明の歴史を交えて、地球の形が真の球ではないことを知る。 地球の層構造やマンツルの対流とプレートの動きについて、プレートの3種類の境界について理解する。 |
| 第2回 | 単元名 | 私たちの大地(2) |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>火山噴火の多様性/火成岩/地震の発生/地震が起こる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上で起こっている火山活動や地震がどのような場所で起こっているのかを知る。 火山活動によって作られる岩石について理解する。 |
| 第3回 | 単元名 | 私たちの空と海 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <p>地球大気構造/地球の大気で起こる現象/地球の熱収支/大気や海水の運動の原因/大気の大循環/海水とその運動/大気と海洋の相互作用</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球大気が層構造となっていることを理解する。 地球大気で起こっている現象、太陽放射と地球放射が付きあっていることを理解する。 大気や海水の運動の原因について、地球の熱収支と関連付けて理解する。 大気と海洋の運動が相互に作用しあっていることを知る。 |
| 第4回 | 単元名 | 私たちの宇宙の誕生 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <p>宇宙の誕生と宇宙の姿/太陽系の誕生/太陽系の構成/太陽の特徴/地球の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ビッグバンによって宇宙が誕生し、太陽系が形成されたことを知る。 太陽系を構成する惑星の特徴と分類、太陽の特徴について理解する。 地球がハビタブルゾーンに位置し、生物が生存できる条件について知る。 |
| 第5回 | 単元名 | 私たちの地球の歴史 |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>地層の形成/地層からわかる情報/地球史の最初期/先カンブリア時代/古生代/中生代/新生代/人類の進化/地球環境の変化による生物の変遷</p> |

| | | |
|----------------|-----|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・地層の堆積のしかた、堆積岩、地層からわかる情報について知る。 ・示準化石や示相化石から、その生物が生息した時代や環境がわかる。 ・地球の変遷について、古生物の変遷と地球環境のことを理解する。 |
| 第6回 | 単元名 | 地球に生きる私たち |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <p>日本の自然環境の特徴／日本の自然の恵み／気象災害と防災／地震による災害と防災／火山による災害と防災／地球環境の考え方／自然環境の変化／人間活動がもたらす自然環境の変化／世界の取り組み／代替エネルギー／持続可能な発展へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然の多様性、自然の与える様々な恩恵について、気象災害と防災、地震による災害と防災、火山による災害と防災について知る。 ・地球システムの考え方について理解する。 ・自然環境の変動について人間活動もかかわっていることを知る。 ・環境問題に対応するための全世界的な取り組みについて知る。 |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】私たちの大地</p> <p>【9月～10月実施】私たちの空と海</p> <p>【11月実施】私たちの地球の誕生</p> <p>【12月～3月実施】私たちの地球の歴史</p> <p>【オンライン授業実施】私たちの宇宙の誕生/私たちの地球の歴史</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p> |
|---|

「体育 I」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|------|----|------|
| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 I | 単位 | 2 単位 |
|----|------|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 10 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 240 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|---------------------------|
| 教科書 | 大修館書店「現代高等保健体育」(保体 7 0 1) |
| 副教材 | 大修館書店「アクティブスポーツ 2021」 |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 2 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|-------------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | スポーツの発祥と発展/陸上競技 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | スポーツの始まりと変遷/文化としてのスポーツ/日本生まれのスポーツ/オリンピックとパラリンピックの意義/オリンピック・パラリンピックの課題/スポーツが経済に及ぼす効果/スポーツの高潔さとドーピング/陸上競技 |
| 第 2 回 | 単元名 | 水泳競技/水泳/器械運動 |
| 提出期限 12 月 15 日 | 概要 | 水泳競技/器械運動/マット運動/鉄棒運動/平均台運動/跳び箱運動 |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】</p> <p>体づくり運動 ストレッチ</p> <p>球技 ボッチャ</p> <p>【9 月～10 月実施】</p> <p>体づくり運動 ストレッチ</p> <p>球技 ボッチャ</p> <p>【11 月実施】</p> <p>体づくり運動 ストレッチ</p> <p>球技 ボッチャ</p> <p>【12 月～3 月実施】</p> <p>体づくり運動 ストレッチ</p> <p>球技 ボッチャ</p> |
|--|

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、自己の特性に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。
ボッチャというターゲット型球技において、自分が狙った場所に投擲物を投げることができる。

また、チーム内で協力し戦術を考えることができる。

【思考・判断・表現】

健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための各トレーニングのポイントを意識し考えながら行うことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

ストレッチ・ボッチャに自主的に取り組むとともに、心身の開放感に気づくことができる。

「体育Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|-----|----|------|
| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育Ⅱ | 単位 | 3 単位 |
|----|------|----|-----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 15 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 320 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|------------------------|
| 教科書 | 大修館書店「現代高等保健体育」(保体701) |
| 副教材 | 大修館書店「アクティブスポーツ 2023」 |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年3回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | | |
|----------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第1回 | 単元名 | 単元：運動・スポーツの学び方／バスケットボール |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 概要：スポーツにおける技能と体力／スポーツにおける技術と戦術／スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう／スポーツとメディアの関係性／技能の上達過程と練習／球技における戦術の特徴を比較してみよう／ゲームにおける戦術的判断／効果的な動きのメカニズム／運動・スポーツと脳／動きと力／体力トレーニング／運動やスポーツでの安全の確保／スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう／スポーツ外傷・障害とその原因／健康づくりのために運動を実践してみよう／バスケットボール |
| 第2回 | 単元名 | 単元：ハンドボール／サッカー／ラグビー |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 概要：ハンドボール／サッカー／ラグビー |
| 第3回 | 単元名 | 単元：バレーボール／テニス／ソフトテニス |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 概要：バレーボール／テニス／ソフトテニス |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <p>球技 輪投げ</p> <p>球技 ボッチャ</p> <p>【9月～10月実施】</p> <p>球技 輪投げ</p> <p>球技 ボッチャ</p> |
|--|

【11月実施】

球技 輪投げ

球技 ボッチャ

【12月～3月実施】

球技 輪投げ

球技 ボッチャ

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、自己の特性に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。
ボッチャ・輪投げというターゲット型球技において、自分が狙った場所に投擲物を投げることができる。
また、チーム内で協力し戦術を考えることができる。

【思考・判断・表現】

健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための各トレーニングのポイントを意識し考えながら行うことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

ボッチャ・輪投げに自主的に取り組むとともに、心身の開放感に気づくことができる。

「保健」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|----|----|------|
| 教科 | 保健体育 | 科目 | 保健 | 単位 | 2 単位 |
|----|------|----|----|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 2 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|---------------------------|
| 教科書 | 大修館書店「現代高等保健体育」(保体 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|-------------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 現代社会と健康(1) |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | 健康の考え方と成り立ち/私たちの健康のすがた/生活習慣病の予防と回復/がんの原因と予防/がんの治療と回復/運動と健康/食事と健康/休養・睡眠と健康/喫煙と健康/飲酒と健康 |
| 第 2 回 | 単元名 | 現代社会と健康(2) |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | 薬物乱用と健康/精神疾患の特徴/精神疾患の予防/精神疾患からの回復/現代の感染症/感染症の予防/性感染症・エイズとその予防/健康に関する意思決定・行動選択/健康に関する環境づくり |
| 第 3 回 | 単元名 | 安全な社会生活 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | 事故の現状と発生要因/安全な社会の形成/交通における安全/応急手当の意義とその基本/日常的な応急手当/心肺蘇生法 |
| 第 4 回 | 単元名 | 生涯を通じる健康(1) |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 | ライフステージと健康/思春期と健康/性意識と性行動の選択/妊娠・出産と健康/避妊法と人工妊娠中絶 |
| 第 5 回 | 単元名 | 生涯を通じる健康(2) |
| 提出期限 11 月 15 日 | 概要 | 結婚生活と健康/中高年期と健康/働くことと健康/労働災害と健康/健康的な職業生活 |
| 第 6 回 | 単元名 | 健康を支える環境づくり |
| 提出期限 12 月 15 日 | 概要 | 大気汚染と健康/水質汚濁、土壌汚染と健康/環境と健康にかかわる対策/ごみの処理と上下水道の整備/食品の安全性/食品衛生にかかわる活動/保健サービスとその活用/医療サービスとその活用/医薬品の制度とその活用/さまざまな保健活動や社会的対策/健康に関する環境づくりと社会参加 |

面接指導計画

| |
|----------------------------------|
| 1. 単元名 体育理論 「生涯を通じる健康 思春期と健康」 |
|----------------------------------|

2. 単元目標

【知識・技能】

- ・過去に得た知識や新しく得た知識をもとに授業に内容を深く理解している。
- ・授業で学んで知識をもとに健康的な生活をしていくためにどのような行動や対策をしていく必要があるか話したり、書いたりしている。

【思考・判断・表現】

グラフや表などから自分の考えなどをまとめ、言葉や文章で表現することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

授業の内容を自分に落とし込み、今までの経験などを思い出しながら積極的に取り組んでいる。

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術 I | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|-----------------------|
| 教科書 | 光村図書「美術 1」(美 I 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|-------------------|----------|--|
| 第 1 回 | 単元名 | 絵画・彫刻 1「西洋美術について」 |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | 風景を描く／比べて鑑賞する・柵や点で描く／比べて鑑賞する・組み合わせる／鉛筆で描く／水彩絵の具で描く |
| 第 2 回 | 単元名 | 絵画・彫刻 2「日本美術について」 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 | 絵巻物を楽しむ・鳥獣人物戯画／墨で描く／比べて鑑賞する・柵や点で描く／作家の生涯と作品・葛飾北斎 |
| 第 3 回 | 単元名 | 絵画・彫刻 3「自画像について」 |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | 自己をあらわす／油絵の具で描く |
| 第 4 回 | 単元名 | 色「色の特徴について」 |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 | 色の特徴を知ろう・色の性質／色の特徴を知ろう・色の効果／色の特徴を知ろう・配色のヒント |
| 第 5 回 | 単元名 | デザイン「デザインについて」 |
| 提出期限 11 月 15 日 | 概要 | メッセージを広く伝える／文様で飾る／作家の生涯と作品 ル・コルビュジエ／アクリル絵の具で描く |
| 第 6 回 | 単元名 | 映像メディア表現「写真表現について」 |
| 提出期限 12 月 15 日 | 概要 | 人物を撮影する／比べて鑑賞する・人を撮る／テーマを決めて撮影する |

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】

オリジナルピクトグラムをデザインしよう

【9月～10月実施】

オリジナルロゴマークをデザインしよう

【11月実施】

オリジナルマスクを作ろう

【12月～3月実施】

ポテチのパッケージデザインをしよう

【オンライン授業実施】

ボールペンアート

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

制作のために必要な知識を理解し、表現方法や技法を主体的に選択し、意図に応じた表現を工夫する。

【思考・判断・表現】

ねらいを理解し、目的を実現するために、感性や想像力を働かせて効果的な表現を工夫する。

作品の造形的な特徴や表現の工夫を理解し、そのよさや美しさを味わう。

【主体的に学習に取り組む態度】

デザインや美術の様々な表現方法に関心をもって意欲的に表現活動と鑑賞活動に取り組み、表現がもたらす喜びを味わおうとしている。

| | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語コミュニケーションⅠ | 単位 | 3 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 12 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 4.8 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 240 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|---|
| 教科書 | 東京書籍「All Aboard! English Communication I」 (C I 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導 (年 9 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | |
|------------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第 1 回 | 単元名 Warm-Up / 【Pre-Lesson 1】 My name is Ito Neko / 【Pre-Lesson 2】 I Like Junk Food! |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 アルファベット / 教室で使う表現 / 辞書の使い方・疑問詞 ・英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 ・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 ・辞書の使い方と役に立つ用法について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。 ・be 動詞 / 一般動詞 / 自己紹介 / 主語 + 動詞、主語 + 動詞 + 補語、主語 + 動詞 + 目的語について学習する。 ・英語で自己紹介をする。 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 第2回 | 単元名 | 【Lesson1】 Breakfast around the World／【Lesson2】 Australia's Cute Quokkas |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | <p>【Lesson1】世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や違いを学習する。／文法テーマ：過去形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物について、英語で述べることができる。 ・「過去にしたこと」について、英語で述べることができる。 <p>【Lesson2】オーストラリアのめずらしい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。／文法テーマ：進行形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな動物について、英語で述べることができる。 ・「今していること」について説明する。 |
| 第3回 | 単元名 | 【Lesson 3】 A Train Driver in Sanriku／【Lesson 4】 A Miracle Mirror |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <p>【Lesson3】被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。／文法テーマ：助動詞：can, will</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。 ・自分ができることについて伝える。 <p>【Lesson4】海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。／文法テーマ：to 不定詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 ・今週末にやりたいことについて伝える。 ・英語でEメールを書いてみる。 |
| 第4回 | 単元名 | 【Lesson 5】 Learning from the Sea／【Reading 1】 Short Stories in English |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | <p>【Lesson 5】高校のユニークな部活動を通して、今好きなことと将来の夢について考える。／文法テーマ：動名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢について、英語で述べることができる。 ・先週末に楽しんだことについて伝える。 <p>【Reading 1】3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。</p> <p>【Extra Target2】見たり聞いたりしたことについて表現する。／文法テーマ：知覚動詞</p> |
| 第5回 | 単元名 | 【Lesson 6】 A Funny Picture from the Edo Period／【Lesson 7】 A Diary of Hope |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | <p>【Lesson 6】江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。／文法テーマ：受け身</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵について、英語で述べることができる。 ・人や物に焦点をあてて、「ooは...される」と説明する。 <p>【Lesson 7】アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。／文法テーマ：比較表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のある人物について、英語で説明することができる。 ・2つ以上のものを比べて説明する。 |
| 第6回 | 単元名 | 【Lesson 8】 A Door to a New Life |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | <p>【Lesson 8】ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。／文法テーマ：現在完了形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 ・「...したことがある」という経験を伝える。 <p>【Communication 3】電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。</p> |
| 第7回 | 単元名 | 【Lesson 9】 Fighting Plastic Pollution |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>【Lesson 9】プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。／文法テーマ：名詞を後ろから説明する分詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。 ・人や物に「...している」「...された」という説明を加える。 |
| 第8回 | 単元名 | 【Lesson 10】 Pigs from across the Sea |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | <p>【Lesson 10】第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。／文法テーマ：関係代名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。 ・人や物について説明を加える。 |
| 第9回 | 単元名 | 【Reading 2】 The Wizard of Oz |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | <p>【Reading 2】家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。／文法テーマ：仮定法過去</p> |

| | | |
|--|--|-----------------------------------|
| | | ・主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読する。 |
|--|--|-----------------------------------|

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】

- ・1コマ目：文型・動詞
- ・2コマ目：進行形
- ・3コマ目：不定詞

【9月～10月実施】

- ・1コマ目：受動態
- ・2コマ目：名詞を後ろから説明する分詞
- ・3コマ目：関係代名詞

【11月実施】

- 1コマ目：関係副詞
- 2コマ目：比較表現①（原級）
- 3コマ目：比較表現②（比較・最上級）

【12月～3月実施】

- ・1コマ目：助動詞
- ・2コマ目：動名詞
- ・3コマ目：知覚動詞

【オンライン授業実施】

- ・1コマ目：接続詞
- ・2コマ目：仮定法
- ・3コマ目：現在完了形

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に着けている。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深めて主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

| | | | | | |
|----|-----|----|--------------|----|------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位 | 4 単位 |
|----|-----|----|--------------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 16 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 320 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|---|
| 教科書 | 東京書籍「All Aboard! English Communication II」(CII 701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年12回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | | |
|---------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第1回 | 単元名 | 【Pre-Lesson】My Plans for This Year／【Lesson 1】A Colorful Island |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | <p>第1回 【Pre-Lesson】My Plans for This Year／【Lesson 1】A Colorful Island</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年やってみたいことについて英語で考える。 ・海外で行ってみたい場所について、英語で述べるができる。 ・子供のころなりたかったものについて伝える。 ・関係代名詞(what)について学ぶ。 |
| 第2回 | 単元名 | 【Lesson 2】With the Beatles |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 提出期限 7月15日 | 概要 | 第2回 【Lesson 2】 With the Beatles ・ 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。 ・ 2つ以上のものを比べて説明する。 ・ 比較表現について学ぶ。 |
| 第3回 | 単元名 | 【Lesson 3】 Wild Men |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | 第3回 【Lesson 3】 Wild Men ・ 身近な行事について、英語で紹介することができる。 ・ ある行動に対する意見や感想を述べる。 ・ it の用法について学ぶ。 |
| 第4回 | 単元名 | 【Lesson 4】 Little Hero |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 第4回 【Lesson 4】 Little Hero ・ 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。 ・ 間接的に自分の疑問を伝える。 ・ 間接疑問文について学ぶ。 |
| 第5回 | 単元名 | 【Lesson 5】 Special Makeup in Kabuki |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 第5回 【Lesson 5】 Special Makeup in Kabuki ・ 日本の伝統文化について、英語で説明することができる。 ・ 人にしてもらいたいことについて伝える。 ・ to 不定詞を含む表現について学ぶ。 |
| 第6回 | 単元名 | 【Reading 1】 Mujina |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 第6回 【Reading 1】 Mujina ・ 物語を読み、場面について想像したり、感情をこめて読み上げる。 |
| 第7回 | 単元名 | 【Lesson 6】 Seeds for Future Generations |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 第7回 【Lesson 6】 Seeds for Future Generations ・ 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。 ・ 気になることについて「...かどうかと思う」と伝える。 ・ 動詞の目的語になる if 節について学ぶ。 |
| 第8回 | 単元名 | 【Lesson 7】 Over the Wall |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 第8回 【Lesson 7】 Over the Wall ・ 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。 ・ 場所や時について説明を加える。 ・ 関係副詞の where、when について学ぶ。 |
| 第9回 | 単元名 | 【Lesson 8】 Inspiration from Nature |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 第9回 【Lesson 8】 Inspiration from Nature ・ 自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。 ・ 見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。 ・ 知覚動詞について学ぶ。 |
| 第10回 | 単元名 | 【Lesson 9】 The Bitter Truth behind Chocolate |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 第10回 【Lesson 9】 The Bitter Truth behind Chocolate ・ 社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。 ・ 「...させてください」と許可を求める。 ・ 使役動詞について学ぶ。 |
| 第11回 | 単元名 | 【Lesson 10】 Fighting Angel |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 第11回 【Lesson 10】 Fighting Angel ・ 人を助ける職業について、英語で説明することができる。 ・ 「...しながら」と文に情報を加える。 ・ 分詞構文について学ぶ。 |
| 第12回 | 単元名 | 【Reading 2】 Bear's Pie |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 第12回 【Reading 2】 Bear's Pie ・ 物語を読み、エンディングを予想し英語で書いてみたり、感情をこめて読み上げる。 |

面接指導計画

1. 単元名

【4月～8月実施】

- ・ 1 コマ目 Pre-Lesson: My Plans for This Year P.8~9
- ・ 2 コマ目 《Lesson 1: A Colorful Island》関係代名詞(what) P.10~17
- ・ 3 コマ目 《Lesson 2: With the Beatles》比較表現 P.20~27
- ・ 4 コマ目 《Lesson 3: Wild Men》it の用法 P.30~39

【9月～10月実施】

- ・ 1 コマ目《Lesson 4: Little Hero》間接疑問 P.42~51
- ・ 2 コマ目《Lesson 5: Special Makeup in Kabuki》to 不定詞 P.56~67
- ・ 3 コマ目(GW)《アクティビティ》日本の英語文化について英語で説明しましょう p.64~65
- ・ 4 コマ目《Lesson 6: Seeds for Future generations》動詞の目的語になる if 節 P.78~89

【11月実施】

- ・ 1 コマ目《Extra Target1》現在完了進行形
- ・ 2 コマ目《Lesson7:Over the Wall》関係副詞
- ・ 3 コマ目《Communication2 & Getting the Necessary Information》日常のフレーズを学ぶ
- ・ 4 コマ目《Lesson8: Inspiration from Nature》知覚動詞

【12月～3月実施】

- ・ 1 コマ目《Lesson9: The Bitter Truth behind Chocolate》使役動詞
- ・ 2 コマ目 (GW) 《エッセイライティング》気になることについてエッセイを書いてみよう
- ・ 3 コマ目《Exstr Target2》動詞の目的語になる if 節
- ・ 4 コマ目《Lesson10 Fighting Angel》分詞構文

【オンライン授業実施】

- ・ 1 コマ目 : Communication II | 入国審査 P.104
- ・ 2 コマ目 : Reading2 Bear's Pie P.148
- ・ 3 コマ目 : Let's Listen1 ホテルにチェックイン P.18
- ・ 4 コマ目 : Let's Listen2 世界自然遺産 P.52

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身に着けている。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深めて主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

| | | | | | |
|----|-----|----|---------|----|------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 論理・表現 I | 単位 | 2 単位 |
|----|-----|----|---------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>(1) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | 東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」(論 I 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年 6 回)、試験(年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | |
|------------------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第 1 回 | 単元名 英語で表現するには / 【Unit 1 Lesson 1】初めての食事～【Lesson 4】体調が悪い |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 【第 1 回】英語で表現するには / 【Unit 1 Lesson 1】初めての食事 / 【Lesson 2】道に迷う / 【Lesson 3】人物紹介 / 【Lesson 4】体調が悪い ・これまでに学んできた英語を振り返る。 ・褒める / 勧める / 断ることができる。 ・提案する / 依頼する / 道順を説明することができる。 ・身近な人を紹介する / 注意を引くことができる。 ・体調を伝える / 体調を尋ねる / 指示・アドバイスをすることができる。 |
| 第 2 回 | 単元名 【Unit 1 Lesson 5】買い物～【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談 |
| 提出期限 7 月 15 日 | 概要 【Unit 1 Lesson 5】買い物 / 【Lesson 6】行ってみたい場所 / 【Lesson 7】イベントに誘われる / 【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談 ・描写する / 相づちを打つことができる。 ・希望を述べる / 理由を述べることができる。 ・誘う / 誘いを受ける / 誘いを断ることができる。 ・状況を説明する / 手助けを申し出る / 助言・提案する / お礼や感謝を伝えることができる。 |
| 第 3 回 | 単元名 【Unit 1 Lesson 9】お気に入りを紹介～【Lesson 12】英字新聞に投稿 |

| | | |
|----------------|-----|--|
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 【Unit 1 Lesson 9】お気に入りを紹介／【Lesson 10】待ち合わせに遅刻／【Lesson 11】家庭でのディスカッション／【Lesson 12】英字新聞に投稿 ・映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする／感想や批評を述べることができる。 ・相手に謝る／相手を許す／相手を励ますことができる。 ・共感を述べる／残念な気持ちを述べる／解決策を提案することができる。 ・要望や主張を述べる／理由を述べることができる。 |
| 第4回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①～【Lesson 3】経験談のスピーチ |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①／【Lesson 2】クラスでディベート②／【Lesson 3】経験談のスピーチ ・理由を述べる／例を挙げるができる。 ・相手の意見に反駁する／相手の意見を引用することができる。 ・できごとを生き生きと描写すること／経験からアドバイスをすることができる。 |
| 第5回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介～【Lesson 6】物事の両面を伝える |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介／【Lesson 5】日本をPR／【Lesson 6】物事の両面を伝える ・ルールや手順を順序立てて説明する／聞き手の知識に合わせて説明することができる。 ・事実と意見を区別して述べる／文化や習慣を説明することができる。 ・利点と欠点を述べる／話題を発展させる／話題を変えることができる。 |
| 第6回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる～【Lesson 8】読み手を説得する |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる／【Lesson 8】読み手を説得する ・自分の主張について理由を説明する／理由を要約してまとめることができる。 ・人の発言を直接引用する／条件を出して意見を述べる／説得することができる。 |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit1》Lesson6 At Yanaka High 行ってみたい場所 (pp.44-45) ・2コマ目：《Unit1》Lesson11 Sakura's Episode 家庭でのディスカッション (pp.74-75) <p>【9月～10月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit2》Lesson3 経験談のスピーチ (pp.100-101) ・2コマ目：《Unit2》Lesson5 日本をPR (pp.112-113) <p>【11月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit1》Lesson3 人物紹介 (pp.26-31) ・2コマ目：《Unit1》Lesson9 お気に入りを紹介 (pp.62-63) <p>【12～3月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit1》Lesson4 体調が悪い (pp.32-37) ・2コマ目：《Unit1》Lesson12 英字新聞に投稿 (pp.80-85) <p>【オンライン授業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：《Unit2》Lesson6 Intersive Lesson 物事の両面を伝える ・2コマ目：《Unit2》Lesson7 Intersive Lesson 読み手を納得させる <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 英語を通じて、社会で使える英語の表現について理解を深め、活用できるようになる</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や考えを的確に理解し、伝える能力を養う</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p> |
|--|

「論理・表現Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|-----|----|--------|----|------|
| 教科 | 外国語 | 科目 | 論理・表現Ⅱ | 単位 | 2 単位 |
|----|-----|----|--------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>(1) 話すこと [やり取り]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、課題を解決することができるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張、課題の解決策などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(2) 話すこと [発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、聞き手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、意見や主張などを、読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | 東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression II」(論Ⅱ 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年6回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| | |
|---------------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第1回 | 単元名 【Unit 1 Lesson 1】友達に報告する～【Lesson 4】ファンレター |
| 提出期限 6月15日 | 概要 【第1回】【Unit 1 Lesson 1】友達に報告する／【Lesson 2】日本での初登校／【Lesson 3】経験についてのスピーチ／【Lesson 4】ファンレター ・訂正する／心配する／感謝する ・驚く／繰り返す／言い換える ・注意を引く／同意を求める ・望む／褒める |
| 第2回 | 単元名 【Unit 1 Lesson 5】イベントに誘う～【Lesson 8】通信販売で返品依頼 |
| 提出期限 7月15日 | 概要 【第2回】【Unit 1 Lesson 5】イベントに誘う／【Lesson 6】図書館で資料さがし／【Lesson 7】翻訳についてのスピーチ／【Lesson 8】通信販売で返品依頼 ・誘う／説明する ・聞き直す／依頼する ・要約する／言い換える |

| | | |
|----------------|-----|---|
| | | ・困った事を伝える・説明する／控えめに依頼する |
| 第3回 | 単元名 | 【Unit 1 Lesson 9】タクシーに乗る～【Lesson 12】就きたい職業 |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 【第3回】【Unit 1 Lesson 9】タクシーに乗る／【Lesson 10】友達とディスカッション／【Lesson 11】比較結果のプレゼンテーション／【Lesson 12】就きたい職業 ・依頼する／提案する ・仮定する／反対する ・報告する／比較して説明する ・説明する／理由を述べる／仮定する |
| 第4回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート1～【Lesson 3】クラスでディベート3 |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 【第4回】【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート1／【Lesson 2】クラスでディベート2／【Lesson 3】クラスでディベート3 ・推論する／賛成・反対する ・主張する／推論する／賛成・反対する ・推論する／説得する |
| 第5回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 4】調査結果のプレゼンテーション～【Lesson 5】社会問題についてのスピーチ |
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 【第5回】【Unit 2 Lesson 4】調査結果のプレゼンテーション／【Lesson 5】社会問題についてのスピーチ ・報告する／望む ・説明する／主張する／提案する |
| 第6回 | 単元名 | 【Unit 2 Lesson 6】仮定して推論する～【Lesson 8】読み手を説得する |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 【第6回】【Unit 2 Lesson 6】仮定して推論する／【Lesson 7】比較して説明する／【Lesson 8】読み手を説得する ・仮定する／推論する ・比較する／類似点と相違点を説明する ・主張する／説得する |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Unit 1 Lesson2 日本での初登校 (p.12~15) ・2コマ目 Unit 1 Lesson10 友達とディスカッション (p.44~47) <p>【9月～10月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目 Unit1 Lesson4 ファンレター (p.20~23) ・2コマ目 Unit1 Lesson8 通信販売で返品依頼 (p.36~39) <p>1コマ目 Unit1 Lesson9 助動詞</p> <p>2コマ目 Unit1 Lesson1 動名詞</p> <p>【12～3月実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：Unit1 Lesson7 翻訳についてのスピーチ (p.32~35) ・2コマ目：Unit2 Lesson8 読み手を説得する (p.86~89) <p>【オンライン授業実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1コマ目：Unit1 Lesson12 就きたい職業 (p.52~55) ・2コマ目：Unit2 Lesson7 比較して説明する (p.82~85) <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>3. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>英語を通じて、社会で使える英語の表現について理解を深め、活用できるようになる</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>情報や考えを的確に理解し、伝える能力を養う</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する</p> |
|--|

「家庭基礎」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|----------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」(家基701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年4回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|----------------|----------|---|
| 第1回 | 単元名 | 生涯を見通す／人生をつくる／子どもと共に育つ |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | 人生を展望する／家族・家庭／ホームプロジェクト／私のキャリア／特別養子縁組／命を育む／子どもの育つ力を知る／保育環境 |
| 第2回 | 単元名 | 超高齢社会を共に生きる／共に生き、共に支える／食生活をつくる |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 高齢期を理解する／高齢者の心身の特徴／これからの高齢社会／私たちの生活と福祉／社会保障の考え方／社会保障の考え方／食生活の課題／食事と栄養／調理 |
| 第3回 | 単元名 | 衣生活をつくる／住生活をつくる／経済生活を営む |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 被服の役割を考える／被服を入手・管理する／衣生活の文化と知恵／住生活の変遷と住居の機能／住生活の文化と知恵／情報の収集・比較と意思決定／消費者の権利と責任／生涯の経済生活を見通す |
| 第4回 | 単元名 | 持続可能な生活を営む／これからの生活を創造する |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 持続可能な社会を目指して／生活をデザインする |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】第1章 自分らしい人生をつくる・第9章 生活を設計する</p> <p>【9月～10月実施】第3章 高齢社会を生きる・第4章 共に生き、共に支える</p> <p>【11月実施】第8章 経済生活を営む</p> <p>【12月～3月実施】第7章 住生活をつくる</p> <p>【オンライン授業実施】第6章 衣生活をつくる</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> |
|---|

2. 単元目標

【知識・技能】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

「家庭総合」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭総合 | 単位 | 4 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 8 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 3.2 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 160 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|----------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」(家総701) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導(年8回)、試験(年間1回)、面接指導での評価 |

| 添削課題 | 単元名および概要 | |
|----------------|----------|--|
| 第1回 | 単元名 | 生涯を見通す/人生をつくる |
| 提出期限 6月15日 | 概要 | 小学校、中学校の学習とのつながり/生活に生かそう～ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動～/学校家庭クラブ活動の取り組み/生涯を見通す/人生を展望する/目標を持って生きる/人生をつくる/家族・家庭を見つめる/これからの家庭生活と社会 |
| 第2回 | 単元名 | 子どもと共に育つ |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | 命を育む/子どもの育つ力を知る/子どもと関わる/子どもとの触れ合いから学ぶ/これからの保育環境 |
| 第3回 | 単元名 | 超高齢社会を共に生きる/共に生き、共に支える |
| 提出期限 7月15日 | 概要 | 超高齢・大衆長寿社会の到来/高齢期の心身の特徴/高齢者の自立を支える/これからの超高齢社会/私たちの生活と福祉/社会保障の考え方/共に生きる/誰もが暮らしやすい社会を目指して |
| 第4回 | 単元名 | 食生活をつくる |
| 提出期限 8月15日 | 概要 | 食生活の課題について考える/食事と栄養・食品/食品の選択と安全/生涯の健康を見通した食事計画/調理の基礎/調理実習の基本/食生活の文化と知恵/これからの食生活 |
| 第5回 | 単元名 | 衣生活をつくる |
| 提出期限 9月15日 | 概要 | 被服の役割を考える/被服を入手する/被服を管理する/衣服を作る/衣服製作の基本/衣服製作例/衣生活の文化と知恵/これからの衣生活 |
| 第6回 | 単元名 | 住生活をつくる |
| 提出期限 10月15日 | 概要 | 住生活の変遷と住居の機能/安全で快適な住生活の計画/住生活の文化と知恵/これからの住生活 |
| 第7回 | 単元名 | 経済生活を営む |

| | | |
|----------------|-----|---|
| 提出期限 11月15日 | 概要 | 情報の収集・比較と意思決定／購入・支払いのルールと方法／消費者の権利と責任／生涯の経済生活を見通す／家計をマネジメントする／これからの経済生活 |
| 第8回 | 単元名 | 持続可能な生活を営む |
| 提出期限 12月15日 | 概要 | 持続可能な社会を目指して／一人一人の力で社会を動かす／ホームプロジェクト・私のキャリア |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】第1章 生涯を見通す</p> <p>【9月～10月実施】第2章 子どもと共に育つ</p> <p>【11月実施】第7章 衣生活をつくる</p> <p>【12月～3月実施】第6章 食生活をつくる</p> <p>【オンライン授業実施】第9章 経済生活を営む</p> <p>※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。"</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。"</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。"</p> |
|---|

「情報 I」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|------|
| 教科 | 情報 | 科目 | 情報 I | 単位 | 2 単位 |
|----|----|----|------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 4 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 1.6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 40 分 1 コマ換算 | 80 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。</p> <p>(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。</p> <p>(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--------------------------|
| 教科書 | 東京書籍「新編情報 I」 (情 I 7 0 1) |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導 (年 4 回)、試験 (年間 1 回)、面接指導での評価 |

| | | |
|-------------------|----------|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 情報で問題を解決する |
| 提出期限 6 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの使い方 ・情報とは何かを知ろう ・発想法などを実践しよう ・問題解決のツールを知ろう ・情報モラルについて知ろう ・著作権について知ろう ・情報技術、情報社会について知ろう |
| 第 2 回 | 単元名 | 情報を伝える |
| 提出期限 8 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションについて知ろう ・デジタル化について知ろう ・デジタルデータについて知ろう ・Google ドキュメントを操作してみよう ・色彩・文字の基礎知識 ・情報を表現・整理しよう ・情報伝達のためのデザインを知ろう |
| 第 3 回 | 単元名 | コンピュータを活用する |
| 提出期限 10 月 15 日 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組みを知ろう ・プログラムの基本構造について知ろう ・さまざまなプログラミング言語 ・プログラムを作ろう ・発展的なプログラムについて知ろう ・モデル化とシミュレーションについて知ろう ・Google スプレッドシートを操作してみよう |
| 第 4 回 | 単元名 | データを活用する |
| 提出期限 | 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの仕組みを知ろう ・インターネット上のサービスや情報セキュリティについて知ろう |

| | | |
|--------|--|--|
| 12月15日 | | <ul style="list-style-type: none"> ・データの特徴や活用方法を知ろう ・ファイル形式の種類や Web ページの構造を知ろう ・データ分析について知ろう ・データを収集・分析しよう |
|--------|--|--|

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名 数値と文字のデジタル表現 音と画像のデジタル表現 個人情報の流出 インターネット上のサービス アルゴリズムの表現 ※上記から2通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けること。情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えること。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する学習活動を通して、問題を発見・解決する方法を身に付けるとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについて理解するようにし、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決し、望ましい情報社会の構築に寄与する力を養う。こうした活動を通して、情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養うことが考えられる。</p> |
|--|

「総合的な探究の時間Ⅰ」 1 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|-----------|----|------------|----|------|
| 教科 | 総合的な探究の時間 | 科目 | 総合的な探究の時間Ⅰ | 単位 | 1 単位 |
|----|-----------|----|------------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 1 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算 | 100 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価 |

| | | | | | |
|-------------------|---|-----|---------------|----|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | | | | |
| 第 1 回 | <table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>自己認知と他者理解について</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> <p>総合的な探究Ⅰでは「自己認知」と「他者理解」の内容について学習していきます。</p> <p>充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。</p> <p>さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。</p> <p>これらの内容を踏まえつつ、「N/S 高等学校で何をするか」について考えてもらいたと思います。</p> <p>高校生活を送る時期は、青年期にあたります。この時期は、さまざまな人と関係を結び、多様な知識や価値観・刺激を受けながら、自分探しをする時期です。いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、「自分とは何か」という問いに対する答えを見つけてください。</p> </td> </tr> </table> | 単元名 | 自己認知と他者理解について | 概要 | <p>総合的な探究Ⅰでは「自己認知」と「他者理解」の内容について学習していきます。</p> <p>充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。</p> <p>さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。</p> <p>これらの内容を踏まえつつ、「N/S 高等学校で何をするか」について考えてもらいたと思います。</p> <p>高校生活を送る時期は、青年期にあたります。この時期は、さまざまな人と関係を結び、多様な知識や価値観・刺激を受けながら、自分探しをする時期です。いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、「自分とは何か」という問いに対する答えを見つけてください。</p> |
| 単元名 | 自己認知と他者理解について | | | | |
| 概要 | <p>総合的な探究Ⅰでは「自己認知」と「他者理解」の内容について学習していきます。</p> <p>充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。</p> <p>さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。</p> <p>これらの内容を踏まえつつ、「N/S 高等学校で何をするか」について考えてもらいたと思います。</p> <p>高校生活を送る時期は、青年期にあたります。この時期は、さまざまな人と関係を結び、多様な知識や価値観・刺激を受けながら、自分探しをする時期です。いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、「自分とは何か」という問いに対する答えを見つけてください。</p> | | | | |
| 提出期限 12 月 15 日 | | | | | |

面接指導計画

| |
|---|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】第 1 章 自分らしい人生をつくる・第 9 章 生活を設計する</p> <p>【9 月～10 月実施】第 3 章 高齢社会を生きる・第 4 章 共に生き、共に支える</p> <p>【11 月実施】第 8 章 経済生活を営む</p> <p>【12 月～3 月実施】第 7 章 住生活をつくる</p> <p>【オンライン授業実施】第 6 章 衣生活をつくる</p> <p>※上記から 2 通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <p>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に学習に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> |
|---|

「総合的な探究の時間Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|-----------|----|------------|----|------|
| 教科 | 総合的な探究の時間 | 科目 | 総合的な探究の時間Ⅱ | 単位 | 1 単位 |
|----|-----------|----|------------|----|------|

| | | | | | |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 1 単位 時間 | 面接指導時間数 (6 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 0.4 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算 | 100 分 |
|-------------------------------------|---------------|-------------------------------------|-----------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|--|
| 学習目標 | <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p> |
|------|--|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導（年間 1 回）、試験（年間 0 回）、面接指導での評価 |

| | | |
|-------------------|----------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 | |
| 第 1 回 | 単元名 | 課題発見と計画力について |
| 提出期限 12 月 15 日 | 概要 | <p>総合的な探究の時間Ⅱでは「課題発見」と「計画力」の内容について学習していきます。</p> <p>充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。</p> <p>さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。</p> <p>これらの内容を踏まえつつ、やりたいことを行動プランに落とし込んでもらいたいと思います。</p> <p>いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、自身の生き方について計画を立てましょう。</p> |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】合意形成、収束</p> <p>【9 月～10 月実施】合意形成、収束</p> <p>【11 月実施】合意形成、収束</p> <p>【12 月～3 月実施】合意形成、収束</p> <p>【オンライン授業実施】収束</p> <p>※上記から 2 通りを学習する。</p> <p>2. 単元目標</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン思考について理解し、様々な問題や課題に対し解決のアイデアを出す方法を身につけることができる。 集団の中で自身の意見を他者に正しく伝える方法を身につけることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された問題や課題に対して、解決に向けてアイデアを提案することができる。 自身の考えや意見を正しく伝えるために伝え方を工夫することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。</p> |
|--|

「特別活動Ⅰ」 1学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|-------|----|---|
| 教科 | 特別活動 | 科目 | 特別活動Ⅰ | 単位 | — |
|----|------|----|-------|----|---|

| | | | | | |
|-----------------------------------|----------------|----------------------------------|---------------|---------------------------|------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1単位時間 50分 | 10 単位 時間 | 面接指導時間数 (4割減免後) ※1単位時間 50分 | 6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 50分1コマ換算 | 300分 |
|-----------------------------------|----------------|----------------------------------|---------------|---------------------------|------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導（年間1回）、面接指導での評価 |

| | | | | | |
|----------------|---|-----|-----------|----|--|
| 添削課題 | 単元名および概要 | | | | |
| 第1回 | <table border="1"> <tr> <td>単元名</td> <td>キャリアガイダンス</td> </tr> <tr> <td>概要</td> <td> <p>特別活動は必修の活動です。</p> <p>「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」は、1) 学校生活について、2) 社会を知る、3) 進路・自己分析、4) ライフスキルの4つのポイントで授業が構成されています。</p> <p>『自分』と『社会』を知り、社会に出た自分の未来を想像しながら授業を受けてください。</p> </td> </tr> </table> | 単元名 | キャリアガイダンス | 概要 | <p>特別活動は必修の活動です。</p> <p>「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」は、1) 学校生活について、2) 社会を知る、3) 進路・自己分析、4) ライフスキルの4つのポイントで授業が構成されています。</p> <p>『自分』と『社会』を知り、社会に出た自分の未来を想像しながら授業を受けてください。</p> |
| 単元名 | キャリアガイダンス | | | | |
| 概要 | <p>特別活動は必修の活動です。</p> <p>「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」は、1) 学校生活について、2) 社会を知る、3) 進路・自己分析、4) ライフスキルの4つのポイントで授業が構成されています。</p> <p>『自分』と『社会』を知り、社会に出た自分の未来を想像しながら授業を受けてください。</p> | | | | |
| 提出期限 12月15日 | | | | | |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4月～8月実施】 聴く、話す、受け止め</p> <p>【4月～8月実施】 観る、話す、アサーション</p> <p>【4月～8月実施】 アート思考、自分なりのモノの見方</p> <p>【9月～10月実施】 聴く、話す、受け止め</p> <p>【9月～10月実施】 観る、話す、アサーション</p> <p>【9月～10月実施】 コミュニケーションタイプ、自分なりのモノの見方</p> <p>【11月実施】 聴く、話す、受け止め</p> <p>【11月実施】 観る、話す、アサーション</p> <p>【11月実施】 自分の感情の動きに目を向ける、自分なりのモノの見方</p> <p>【12月～3月実施】 聴く、話す、受け止め</p> <p>【12月～3月実施】 観る、話す、アサーション</p> |
|--|

【12月～3月実施】日常のポジティブな感情に目を向ける、自分なりのモノの見方

【オンライン授業実施】聴く、アサーション

【オンライン授業実施】観る

【オンライン授業実施】価値観、自分なりのモノの見方

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に学習に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「特別活動Ⅱ」 2 学年 年間学習指導計画

| | | | | | |
|----|------|----|-------|----|---|
| 教科 | 特別活動 | 科目 | 特別活動Ⅱ | 単位 | — |
|----|------|----|-------|----|---|

| | | | | | |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|
| 面接指導時間数 (学習指導要領) ※1 単位時間 50 分 | 10 単位 時間 | 面接指導時間数 (4 割減免後) ※1 単位時間 50 分 | 6 単位 時間 | 面接指導実施 時間数 50 分 1 コマ換算 | 300 分 |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|------------------------------|-------|

| | |
|------|---|
| 学習目標 | <p>集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--|
| 教科書 | |
| 副教材 | |

| | |
|------|---|
| 学習方法 | インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用して学習する。 |
| 評価方法 | 添削指導（年間 1 回）、面接指導での評価 |

| | |
|-------------------|---|
| 添削課題 | 単元名および概要 |
| 第 1 回 | 単元名 キャリアガイダンス 共通 |
| 提出期限 12 月 15 日 | <p>概要 特別活動は必修の活動です。</p> <p>「特別活動Ⅱ キャリアガイダンス 共通」は、1) 進路、2) 先輩インタビュー、3) 自分&社会を知る、4) ライフスキルの 4 つのポイントで授業が構成されています。</p> <p>高校卒業後の近い将来の自分を具体的に想像しながら各進路についての基礎知識や 2 年次生のうちでできることを学び、また先輩の体験談を参考にしながら、2 年次生のうちに始められるアクションを起こしていきましょう。</p> <p>※特別活動は教科書を使用せず学習する科目です。</p> <p>※2 年次生を過ごすうえで意識すべき内容などがあるため、なるべく早めに受講するように心掛けてください。</p> <p>※特別活動Ⅱは、『大学・留学志望者向け』と『共通』の 2 コースがあり、現時点での進路選択に応じてどちらを受講するか選択することができます。</p> <p>※視聴しているコースを途中で変更することは可能ですが、新たに選択したコースを最初から視聴することになりますので、ご注意ください。</p> |

面接指導計画

| |
|--|
| <p>1. 単元名</p> <p>【4 月～8 月実施】アサーション、I メッセージ</p> <p>【4 月～8 月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義</p> <p>【4 月～8 月実施】アイデア出しのコツ</p> <p>【9 月～10 月実施】アサーション、I メッセージ</p> |
|--|

【9月～10月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【9月～10月実施】アイデア出しのコツ

【11月実施】アサーション、Iメッセージ

【11月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【11月実施】アイデア出しのコツ

【12月～3月実施】アサーション、Iメッセージ

【12月～3月実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【12月～3月実施】アイデア出しのコツ

【オンライン授業実施】アサーション、Iメッセージ

【オンライン授業実施】デザイン思考の概要、共感/ニーズ/問題定義

【オンライン授業実施】アイデア出しのコツ

※上記から2通りを学習する。

2. 単元目標

【知識・技能】

- ・デザイン思考について理解し、様々な問題や課題に対し解決のアイデアを出す方法を身につけることができる。
- ・集団の中で自身の意見を他者に正しく伝える方法を身につけることができる。

【思考・判断・表現】

- ・提示された問題や課題に対して、解決に向けてアイデアを提案することができる。
- ・自身の考えや意見を正しく伝えるために伝え方を工夫することができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。